

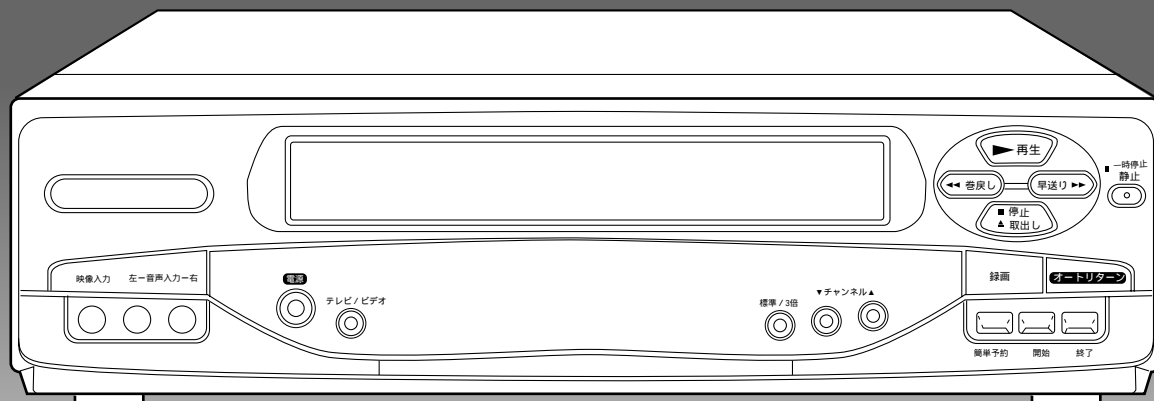


Hi-Fi ステレオビデオ・カセット・レコーダー

型番 **VR-F8A**

取扱説明書

HQ VHS



この説明書と添付の保証書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがあったときは
もう一度ご参照ください。

はじめに

設置のしかた

基本的な使いかた

便利な機能

その他

ご使用のまえに

このビデオを正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

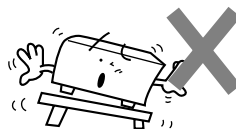


警告

- 本機を表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

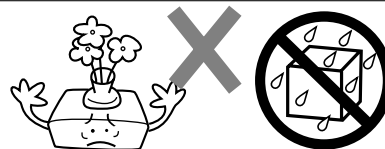


- 本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。また窓辺に設置する際は、窓から水が入り、本機に掛かる恐れがありますので、充分注意してください。

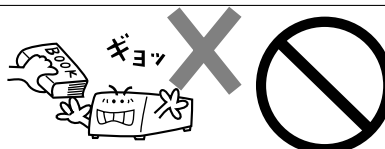


警告

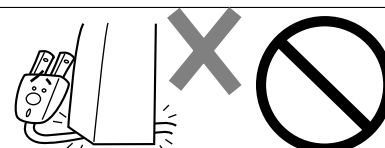
- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



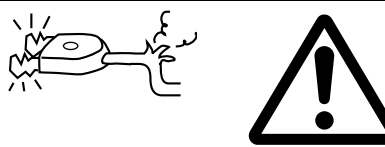
- 本機の開口部（通風孔、ビデオカセットテープの挿入口など）から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
＜特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。＞



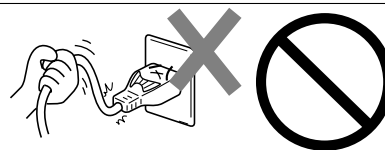
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っばったりすると電源コードや被膜が破損したり、内部の電線が切れて火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（刃の曲がり、プラグカバーの傷み、芯線の露出、断線など）お買い求めの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

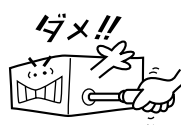


- 電源コードを加工したり（途中で切断して接続するなど）無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしないでください。コード内部の電線が切れて火災・感電の原因となります。



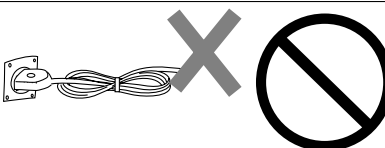
- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。



分解禁止

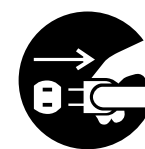
- 電源コードを束ねてご使用にならないでください。発熱の恐れがあり、焼損や発火の原因になります。



- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 万一、異物や水などが本機の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
＜特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。＞

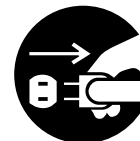


プラグをコンセントから抜くこと

ご使用のまえに

⚠ 警告

- 万一、本機を落とししたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



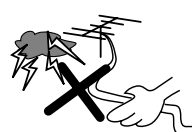
プラグをコンセントから抜くこと

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



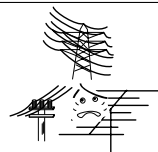
水場での使用禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線には絶対に触れないでください。感電の原因となります。

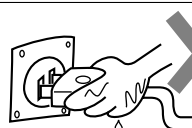


接触禁止

- アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。倒れた場合は感電事故の原因となります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



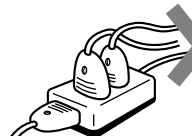
- ボタン電池について（ボタン電池使用機種のみ）

- ボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様がボタン電池をあやまって飲むことがないようにしてください。

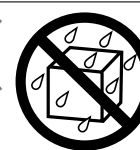
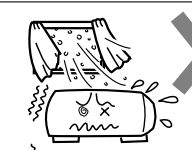
- 電池は幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



- 電源は、必要に応じてブレーカーやヒューズを設置した専用回路からとってください。また、電源コードを延長したり、タコ足配線はしないでください。発火の原因となります。



- 雨天、降雪時は窓から水が入り本機にかかる恐れがありますので窓辺に設置の際は充分注意してください。

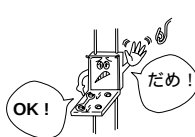


- 電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因になります。



警告

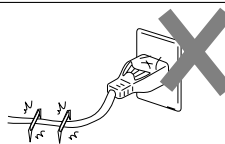
- 電源回路にヒューズが使用されている場合は、指定の容量のヒューズ以外は使用しないでください。火災、感電の原因となります。



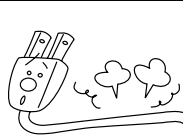
- 電源プラグやコードに水や液体をかけないでください。感電や火災の原因になります。



- 電源コードをステップル等で固定しないでください。コード内部の電線が切れて、焼損や火災の原因になります。



- 電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは、使用しないでください。コード内部の電線が切れているため、使用すると感電や火災の原因になります。



- 電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないでください。感電の原因になります。



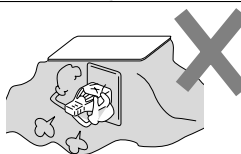
- 電源プラグは中途半端に差し込んだ状態で使用しないでください。感電や発火の原因になります。



- 電源プラグの抜き差しが極端に弱くなったものは使用しないでください。焼損や発火の原因になります。



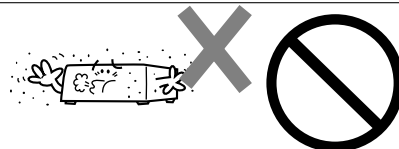
- 電源プラグ・コードを温度や湿度の高いところ（こたつの中やサウナなど）で使用しないでください。感電や火災の原因になります。



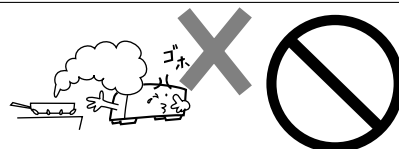
ご使用のまえに

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



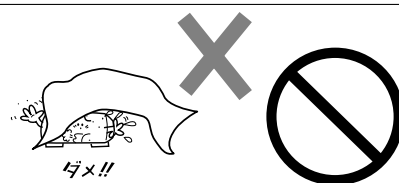
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



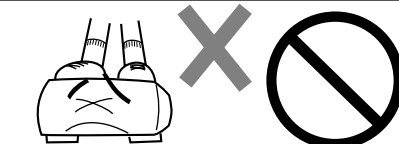
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

次のような使い方はしないでください。

- 本機を押し入れ、専用のビデオラック以外の木箱など、風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。



- 本機に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



- 本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



- 小さなお子様がテープ挿入口から、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがありますので必ず電源プラグを持って抜いてください。

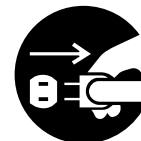
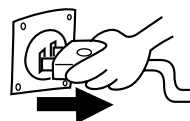


- 移動させる場合は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続など、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、ビデオカセットテープは取り出しておいてください。



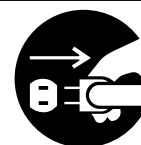
注意

- お手入れの際は安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いて行なってください。



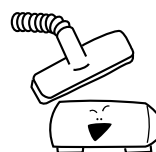
プラグをコンセントから抜くこと

- 旅行などで長時間、タイマーを含めて本機をご使用にならないときは（安全のため）必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜くこと

- 年に一度くらいは内部の掃除を、お買い求めの販売店にご相談下さい。本機器の内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、お買い求めの販売店にご相談下さい。



- 指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液洩れにより、火災・けがの原因となることがあります。



- 本機に電池を挿入する場合、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液洩れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



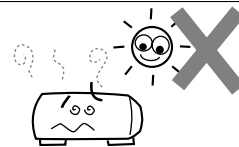
- 本機を持ち運ぶときなどに、強い振動や衝撃をあたえないでください。故障の原因となることがあります。



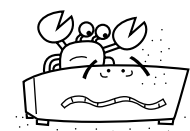
- 置き場所に注意しましょう。
テレビの近くに置くと、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況を生じた場合は、テレビから離してください。



- 熱に注意しましょう。
直射日光の当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。熱によりキャビネットが変形し火災、感電の原因になることがあります。



- 海水や塩害に注意しましょう。
海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。



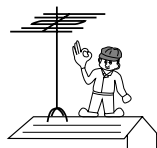
ご使用のまえに

⚠ 注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

- アンテナが倒れた場合の感電事故を防ぐため、送配電線から離れた場所に設置して下さい。

- BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付け・設置してください。

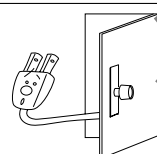


- 乾電池をショートさせたり、分解や加熱、また火の中に投入したりしないでください。破裂したりする危険があります。

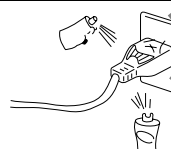


破裂注意

- 電源コードを戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて、焼損や火災の原因となります。



- 電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけないでください。発煙や発火の原因となります。



「結露」に注意しましょう。

■ 「結露」ってどうなるの？

暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。

これを「結露」と呼びます。

本機を

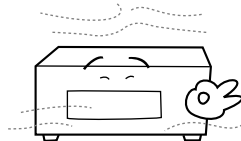
- 寒い所から暖かい所へ急に移動させたとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋で操作するとき。
- 湿気の多い所で使うとき。
- エアコンのそばなど、直接冷風の当たる場所で使うとき。

など、内部で「結露」が起こり、ビデオカセットテープや装置をいためてしまいます。



■ よく乾燥させてからお使いください

結露が起こったときは、電源ボタンを“入”にしたまま、最低2時間は乾燥のため放置して、湿気がなくなるまで操作しないでください。



取扱いには？

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 国外では使えません。

本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This video cassette recorder designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

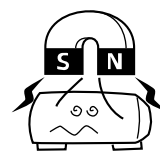


- ご使用にならないときは、必ず停止ボタンを押してからビデオカセットテープを取出し、電源を切ってください。

置き場所は？

■ 磁気に注意しましょう。

本機やビデオカセットテープに磁石、電気時計、スピーカー、磁気を応用した機器やおもちゃ、磁気応用健康器具など磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたりすることがあります。



■ 高温状態をさけてください。

窓を閉めきった自動車の中など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。



■ 砂に注意しましょう。

砂浜や砂ぼこりの多い所で使用する場合は、砂などが内部にはいらないようにしてください。



ご使用のまえに

アンテナについては？

- 設置場所に注意しましょう。
妨害電波の影響を避けるため、交通頻雑な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に設置してください。
- BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつけ・設置してください。設置が不十分の場合はBS放送を正しく録画できないことがあります。
- 同軸ケーブルを使用すると妨害電波の少ない良好な画像が得られますので、アンテナ線には同軸ケーブルの使用をおすすめします。
- 定期的に点検、交換してください。
アンテナは風雨にさらされます。美しい画像でお楽しみ頂くためにも定期的に点検・交換することをおすすめします。特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所ではアンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合はお買い求めの販売店にご相談ください。



リモコンについては？

- 乾電池の交換時期
リモコンで操作できる距離が短くなってきた場合は、乾電池が消耗しています。全て同時に新品に交換し、新旧を混ぜて使用することは避けてください。

ビデオカセットテープについては？

- ホコリやチリの多いところには置かないでください。
- 湿気の多い場所、カビの発生しやすい場所には置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウに放置しないでください。)
- 強い磁気の発生する場所(モーター、磁石、TVセット、スピーカーのそばなど)には置かないでください。
- ビデオカセットテープの上に重いものを置かないでください。ビデオカセットテープが変形して使用できなくなることがあります。
- テープがたるみ、テープに傷を付けることがありますので使用後は、テープの始めまで巻なおしてから、所定のケースに入れて、たてて置いてください。

キャビネットのお手入れは？

- ベンジン、シンナーなどでふかないでください。
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。アルコール、ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
キャビネットや操作パネル部分の汚れは中性洗剤でふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、濡れた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。
- 殺虫剤などに注意しましょう。
キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。
- お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



ビデオヘッドのお手入れは？

■ ビデオヘッドの点検について。

ビデオは高精度な技術によって構成された精密な機器です。特にビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり摩耗したりすると、画質が損なわれます。

美しい画面をご覧いただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますがおよそ1000時間をめどに点検（清掃、注油、一部部品交換）されることをおすすめします。

くわしくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ ビデオヘッドの交換について

ビデオヘッドはレコード針と同じように磨耗します。ビデオヘッドが磨耗しますと鮮明な映像が映らなくなることがあります。このような場合はビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い求めの販売店にご相談ください。なおビデオヘッド交換の費用についてもお買い求めの販売店にご相談ください。

■ 汚れはクリーニングしてください。

古いテープや傷ついたテープの再生などによる汚れが原因で、再生時の画像がザラザラしたり、ノイズが入ったり、ブルーバックになることがあります。このような症状が出たときは販売店にご相談のうえ、高品質のクリーニングテープをお求めになり、クリーニングしてください。ただし、クリーニングしすぎるとヘッドをいためますので、必ず説明書をよくお読みください。

ヘッドクリーニングテープを使用しても効果がない場合のクリーニングは技術を要しますので、お買い求めの販売店にご相談ください。



ザラザラした映像



鮮明な映像



ノイズが入った映像



ブルーバック画面

■ ご購入メモ

このビデオの製造番号は背面に記してあります。この説明書をご購入記録として大切に保存し、お役立てください。

ご購入年月日	:	_____
ご購入販売店名	:	_____
販売店の住所	:	_____
販売店の電話番号	:	_____
型番	:	_____
製造番号	:	_____

本機の特長

● Hi-Fiサウンド

美しく、臨場感あふれる音声を追及したHi-Fi記録再生回路、ダイナミック・リニア・サーキットを搭載。衛星放送のピュアサウンドもクリアーに録音、再生します。

● S-VHS簡易再生

S-VHS方式で録画されたビデオテープも簡易的に見ることができます。

● 前面AV入力端子

AV入力端子を前面パネルの左に配置。ビデオカメラなどの編集に便利です。

● デジタルトラッキング

適切な映像のノイズ調整・トラッキング調整をマイコンが自動的に行います。

● オンスクリーン機能

タイマー録画や時計合わせなどの操作内容をテレビ画面に表示します。録画開始と終了時間、受信チャンネルなどいろいろな表示を、離れた場所からでもテレビ画面を見ながら、リモコン操作で確認できます。

● テープ残量表示機能

テレビ画面にテープの残り時間を表示できます。

● 自動時計設定

テレビの時報に合わせ時刻を自動的に修正します。

● 簡単予約

24時間以内の録画予約が簡単にできます。

● 1年8プログラム予約

簡単予約の他に、日付指定で7プログラムまで確実に予約できます。

● ワンタッチタイマー録画

30分単位、最大8時間までの録画がワンタッチでできます。急な録画にピッタリの便利な機能です。

● ピッタリ録画

録画時間とテープ残量をマイコンが計算しシリ切れ録画を防止します。

● タイム、インデックス、ブランク、エディットサーチ

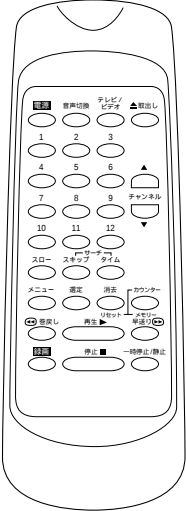
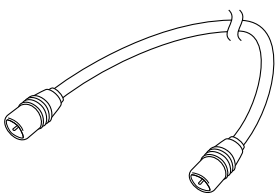
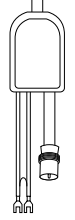
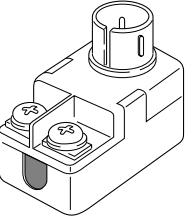
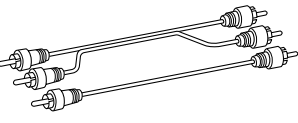
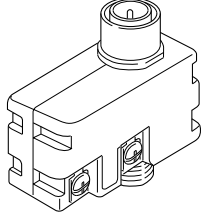
時間、インデックス、テープの無記録部分を検索できます。

● スキップサーチ

コマーシャルなどの早送りに便利です。

● オートリターン

タイマー録画終了後自動的に録画開始位置までテープを巻き戻します。

付属品（必ずお確かめください）			別売品
リモコン（1） RC-22 	単3乾電池（2） 	同軸ケ－ブル（1） （長さ：約100cm） 	U/V分波器 （品番）UCPGANTSR008 
	アンテナ整合器（1） 	AV接続コード（1） （長さ：約100cm） 	U/V混合器 （品番）UCPGANTSR007 

もくじ

■はじめに

ご使用のまえに	2
本機の特長	12
付属品	12
各部のなまえ	14
フロント（正面）	
リア（背面）	
デジタル表示部	
テープ走行表示	
リモコン各部のなまえと使いかた	16
各部のなまえ	
リモコンの使いかた	
リモコン乾電池のいれかた	
ビデオカセットテープについて	18
ビデオカセットテープの入れかた	
ビデオカセットテープの出しかた	

■設置のしかた

AVテレビとのAV接続	19
アンテナ線のつながかた	20
アンテナ線と同軸ケーブルの加工のしかた	
ビデオ専用チャンネルの設定	23
受信チャンネルの設定	24
チャンネルスキップとチャンネル復帰	26
チャンネル表示設定	28
時計の合わせかた	30
自動時計設定	32

■基本的な使いかた

音声多重放送について	34
再生のしかた	36
ビデオカセットテープを再生するには	
再生中に、テレビ番組などを見るには	
早送り、巻戻しをするには	
テレビ番組の録画	38
番組を見ながら録画するには	
録画中にコマーシャルなどをカットするには	
うら番組を録画するには	
タイマー録画	40
オートリターン	43
予約内容の確認	44
予約内容の取り消し	45
予約内容の修正	46
簡単予約	48
ワンタッチタイマー録画	49

■便利な機能

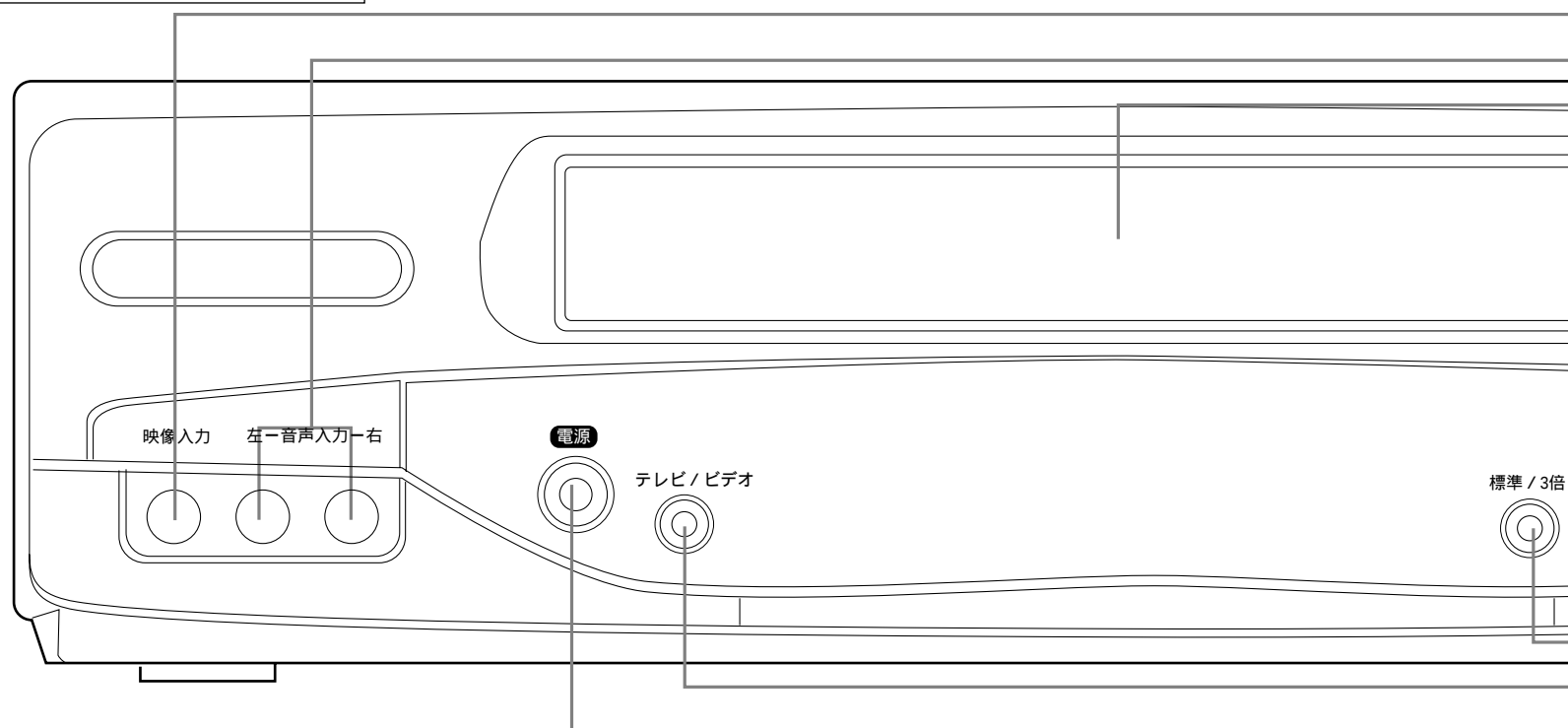
いろいろな再生	50
ビデオサーチ	
2段階ビデオサーチ	
スキップサーチ	
静止画再生	
スロー再生	
いろいろな機能	54
リピート再生	
レンタルセクター	
便利な画面のさがしかた	56
カウンターメモリー機能	
インデックスサーチ	
タイムサーチ	
ブランクサーチ	
エディットサーチ	
テープの残量表示	61
テープ残量の確認	
テープセレクトの設定	
テープのダビング	62

■その他

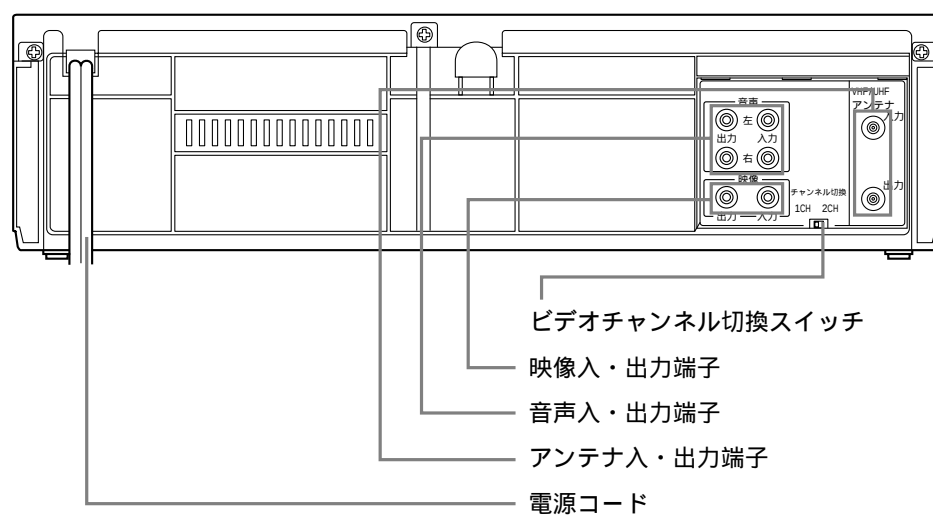
故障かな？でももう一度調べましょう	64
仕様	65
アフターサービスについて	裏表紙

各部のなまえ

フロント（正面）

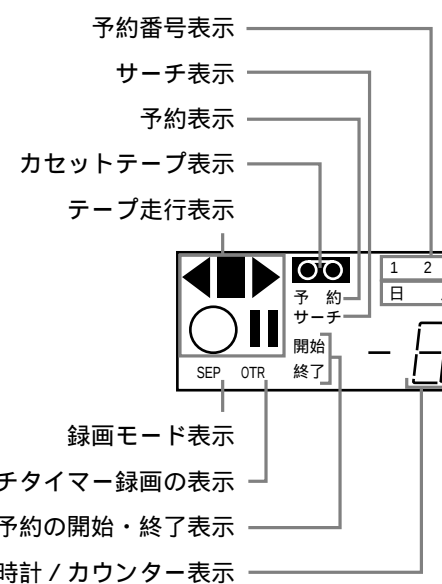


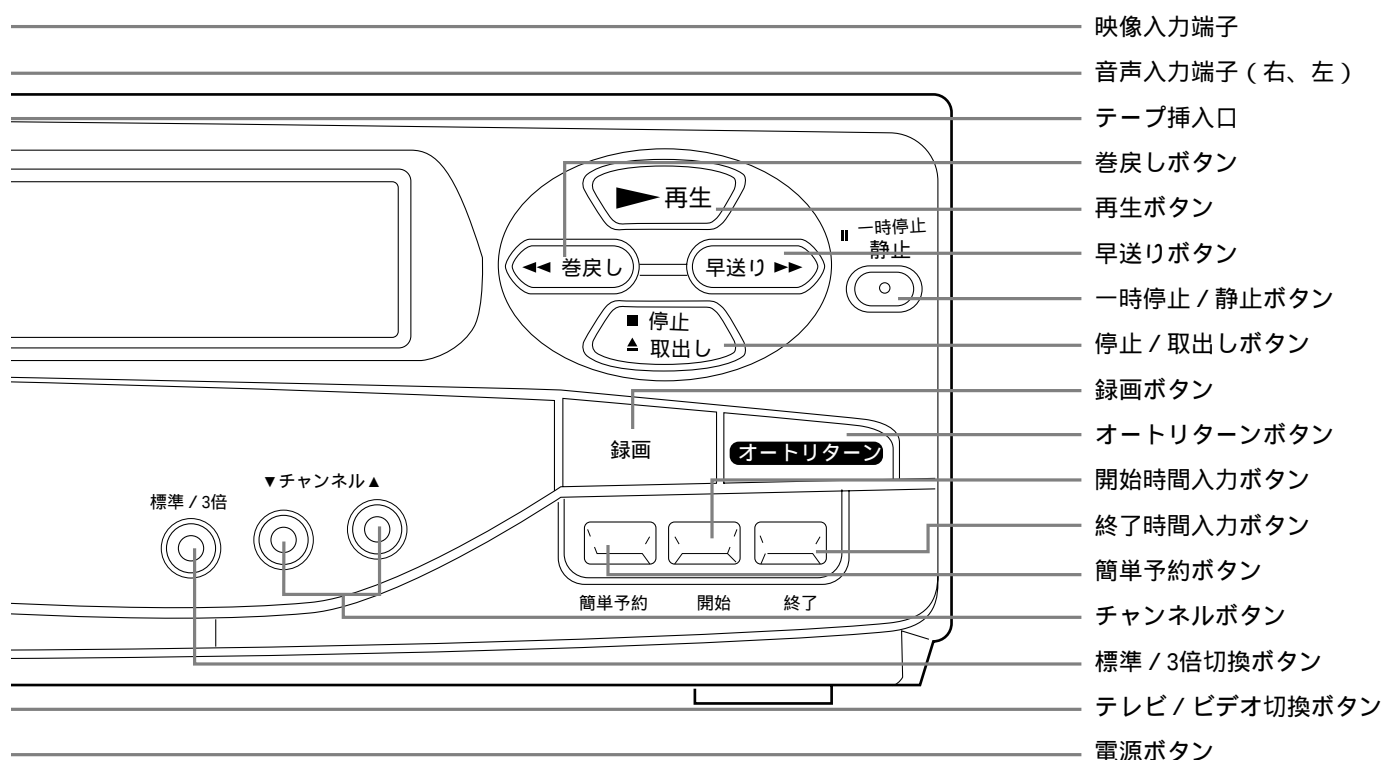
リア（背面）



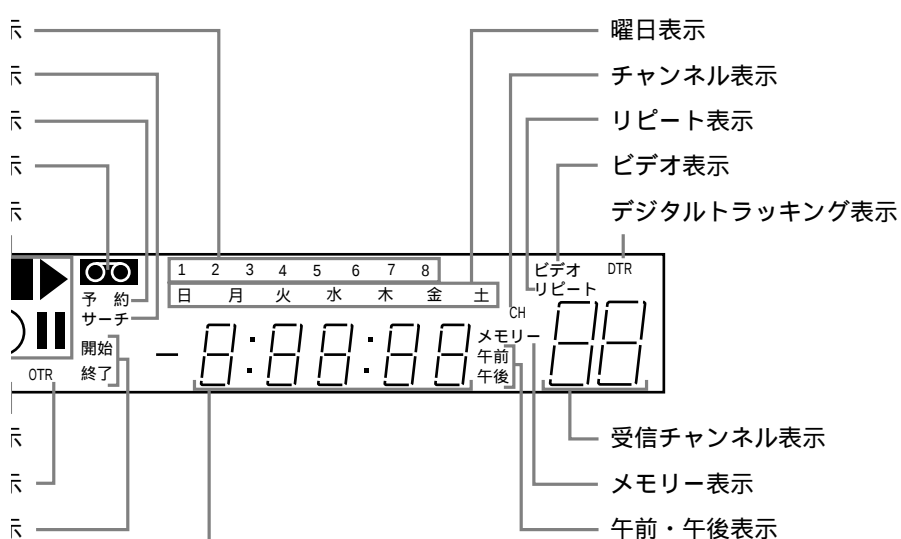
電源コードについて

テープ走行中（再生、録画中など）に電源コードをコンセントから抜くと、テープのから回りなどトラブルの原因となります。電源コードを抜くときは、テープを取出し、電源を切ってから行ってください。





デジタル表示部



テープ走行表示

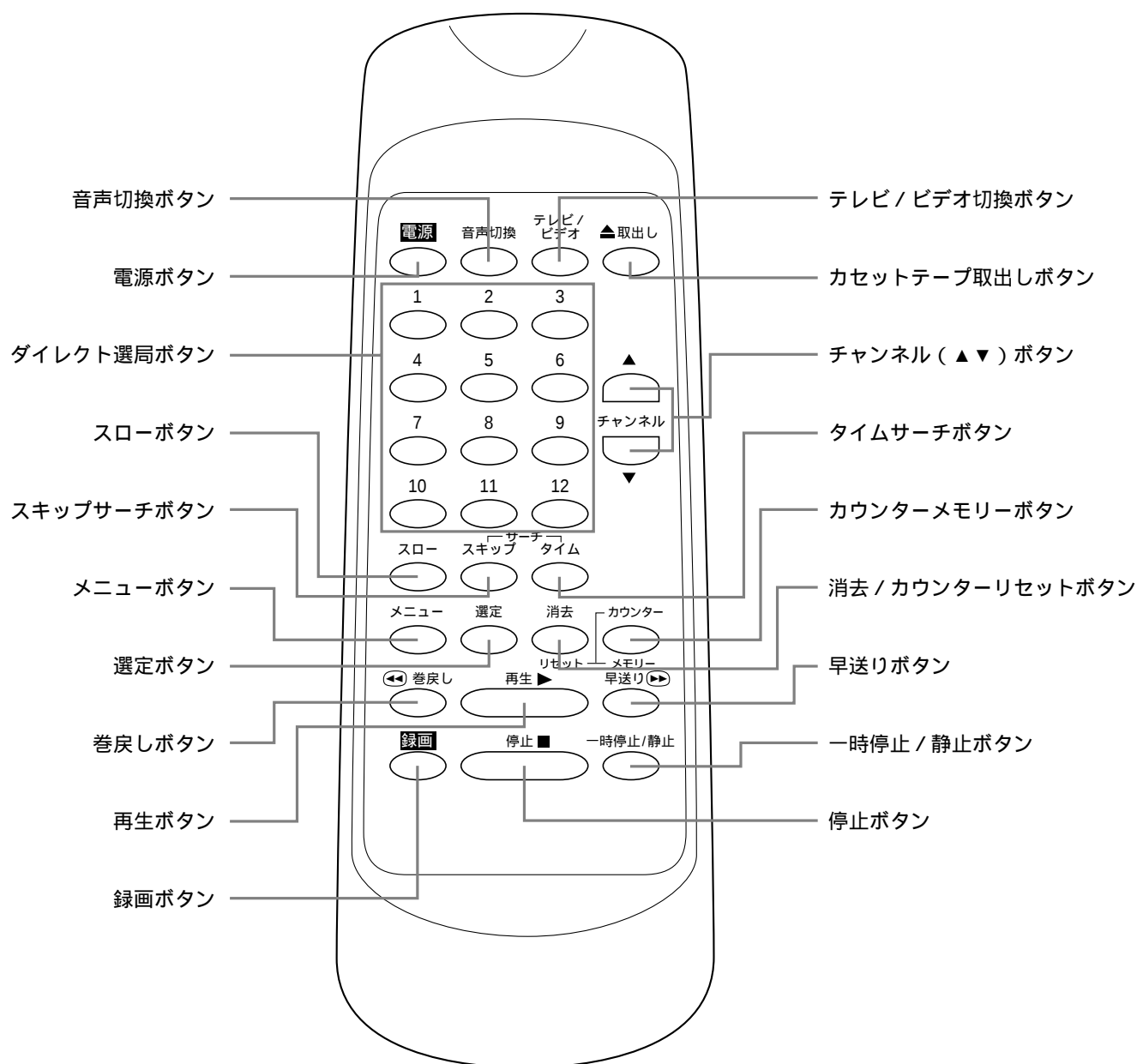
▶	再生
○▶	録画
■	停止
▶	一時停止 / 静止
○	録画の一時停止
◀	巻戻し
▶	早送り
◀▶	ビデオサーチ（巻戻し再生）
▶▶	ビデオサーチ（早送り再生）
▶	スロー再生

ご注意

イラストは、説明のため実際とは異なる場合があります。

リモコン各部のなまえと使いかた

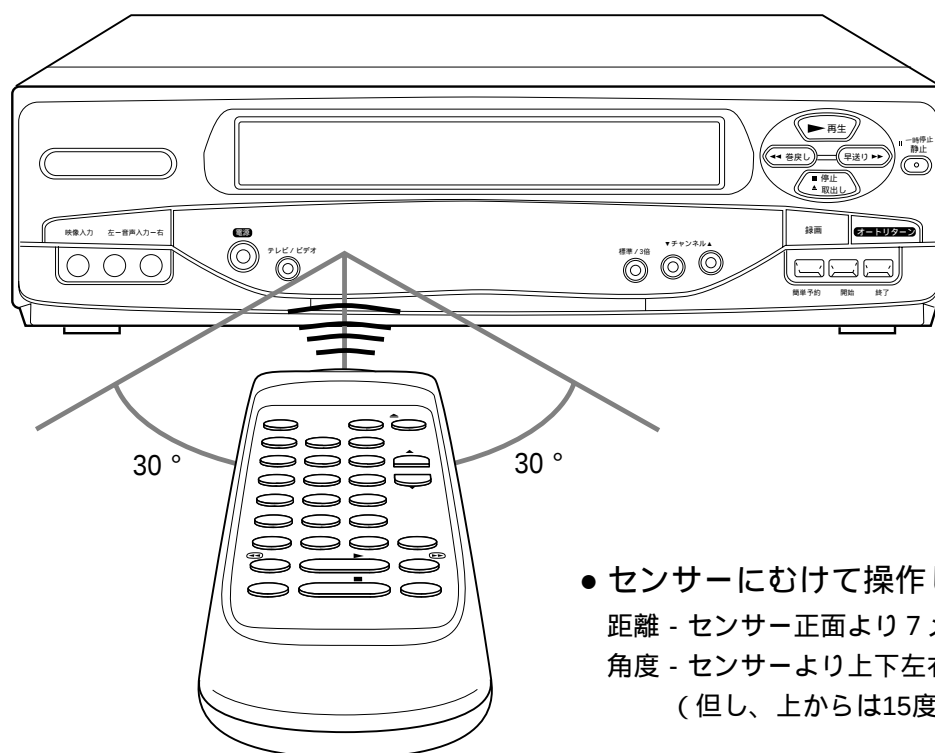
各部のなまえ（リモコン）



ご注意

イラストは、説明のため実際とは異なる場合があります。

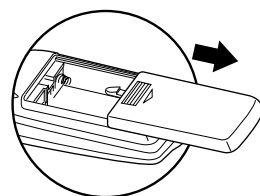
リモコンの使いかた



- センサーにむけて操作してください。
距離 - センサー正面より7メートル以内です。
角度 - センサーより上下左右30度以内です。
(但し、上からは15度以内です。)

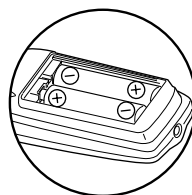
リモコン乾電池の入れかた

1 リモコン裏側のフタをはずす

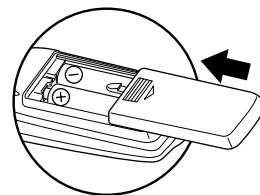


2 単3乾電池を入れる

- 乾電池の+ - を確かめてください。



3 フタをつける



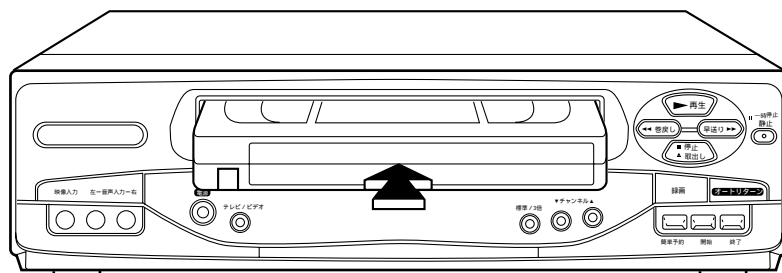
ご注意

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗してきています。新しい乾電池に交換してください。(乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。)
- 新しい乾電池と古い乾電池、また種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池をショートさせたり、分解や加熱、また火の中に投入したりしないでください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取出してください。

ビデオカセットテープについて

ビデオカセットテープの入れかた

テープが見える方を上に、ラベルが手前にくるようにビデオカセットテープを入れます



- カセットテープ表示 () が点灯します。
カセットテープ表示 () は、カセットテープが入っていると、電源を切っても点灯しています。
- 電源ボタンを押さなくても、自動的に電源が入ります。(オートパワーオン機能)
- ツメを折ったカセットテープなら自動的に再生が始まります。(オートプレイ機能)
- カセットテープを挿入すると、時計表示は自動的にカウンター表示にかわります。(オートカウンター機能)

このビデオは、**VHS** 方式のビデオです。

VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

ご注意

- お子様がテープ挿入口から手をいれないようにご注意ください。けがをする場合があります。
- テープ挿入口には、ビデオカセットテープ以外のものを入れないでください。

ビデオカセットテープの録画時間について

カセットテープに録画できる時間は、録画スピードによって、次のようになります。

- 「標準」： カセットテープに表示している時間
- 「3倍」： カセットテープに表示している3倍の時間

テープの種類	「標準」	「3倍」
T-60	60分	180分
T-120	120分	360分
T-160	160分	480分
T-180	180分	540分

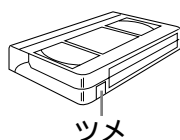
ビデオカセットテープの出しかた

取出しボタンを押すと、自動的にビデオカセットテープが出てきます

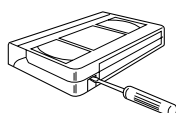
- カセットテープ表示 () が消灯します。
- 電源が切れていても取出せます。(パワーオフ イジェクト機能)

ビデオカセットテープの「ツメ」について

1 カセットテープには「誤動作防止用のツメ」がついています



2 大切な録画を誤って消さないために



- ドライバーなどでツメを折る

3 ふたたび録画するときは



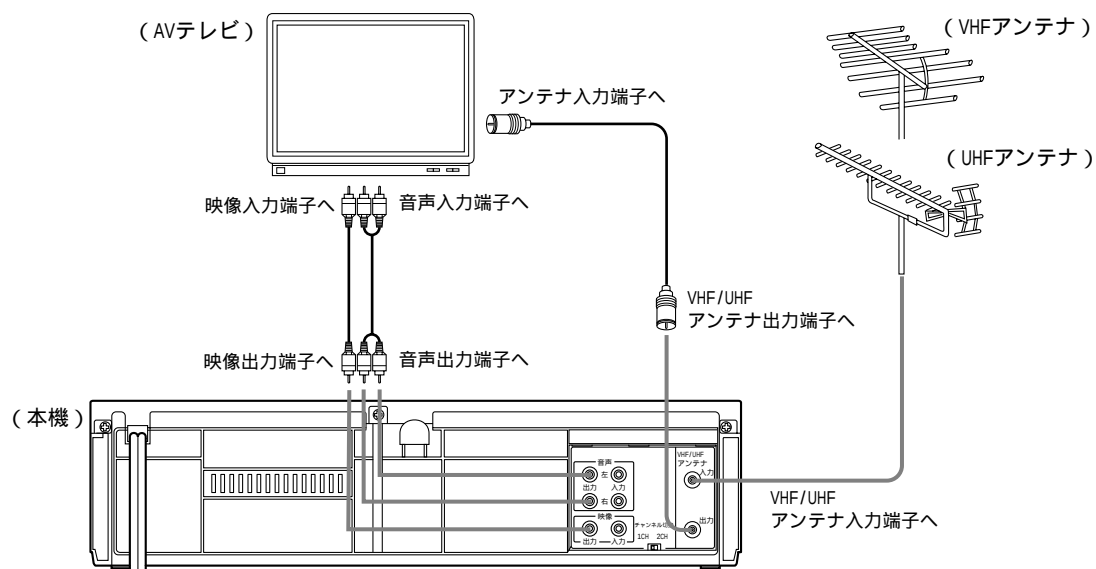
- セロハンテープを二重に貼る

AVテレビとのAV接続

AV（映像・音声入力端子付）テレビを接続すると、普通のテレビで見るより優れた映像・音声が楽しめます。

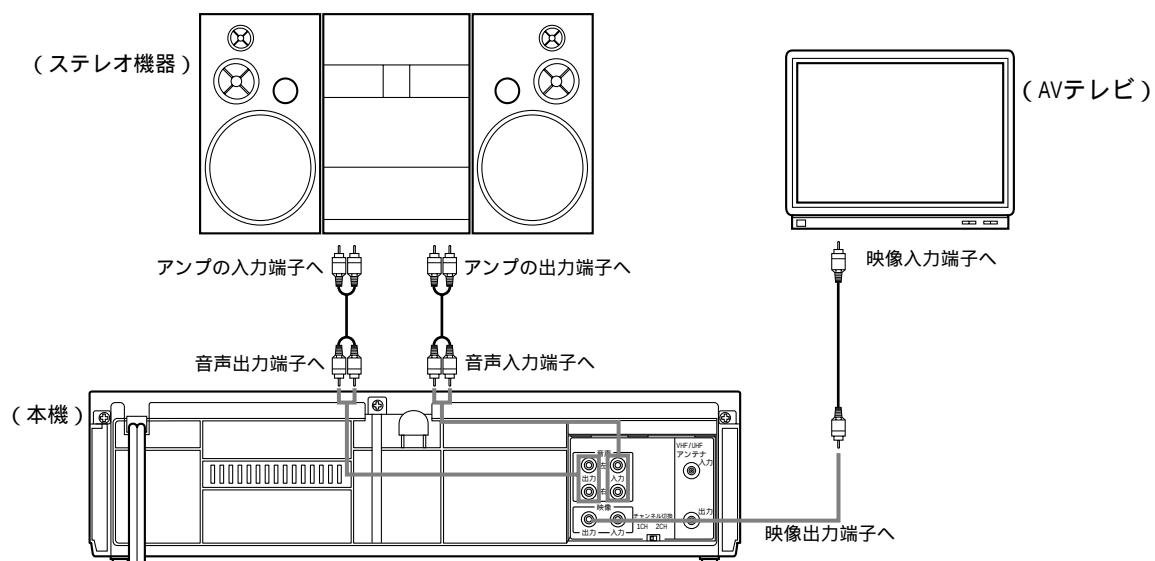
（くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。）

- ビデオを見るときはテレビ側の入力切替などを「ビデオ」にしてください。



オーディオ機器と接続すると本格的なHi-Fiサウンドを楽しむことができます。

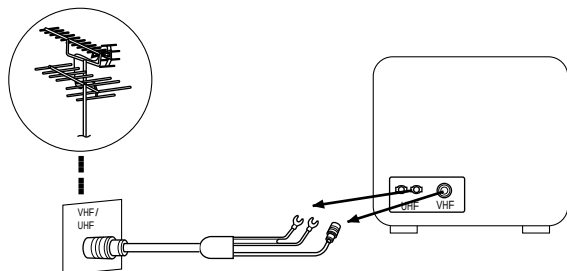
- ステレオ機器からの音声を録音する場合は、本機の音声入力端子とアンプの出力端子を接続し、本機のチャンネルをL1（ライン1）にします。



アンテナ線のつなぎかた

1

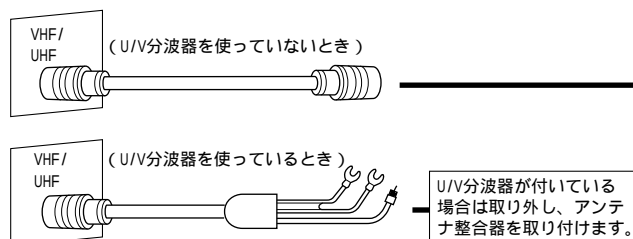
テレビからアンテナ線を取りはずす。



アンテナ線の種類について

お手持ちのテレビやお住まいの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は次のように違います。どのような場合もまずアンテナ線はすべてテレビから取りはずします。

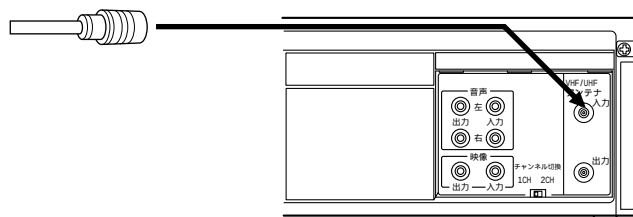
UHFとVHFアンテナ線が混合されている場合



壁にアンテナ端子がある場合はアンテナ線を取りはずしアンテナ～ビデオ間に付属の同軸ケーブルを使用します。取りはずしたアンテナ線はビデオ～テレビ間に接続してください。

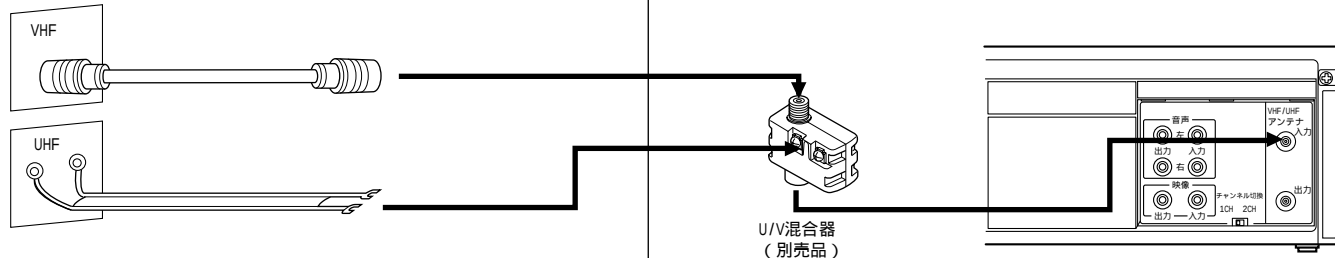
2

取りはずしたアンテナ線をビデオに接続する

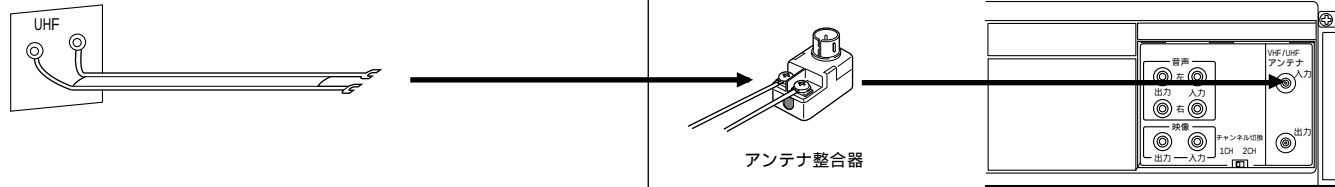


アンテナ線の種類により、アンテナ整合器（付属品）やU/V混合器（別売品）が必要です。

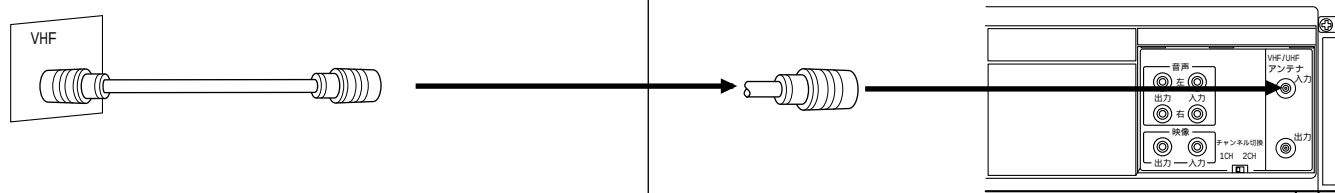
UHFとVHFアンテナ線の両方が接続されている場合



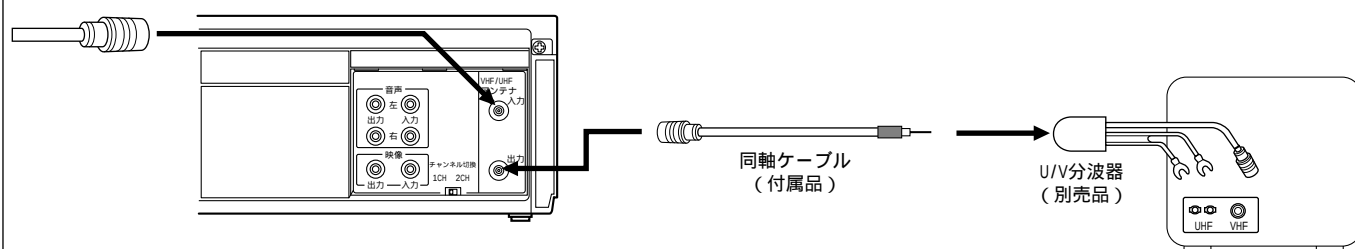
UHFアンテナ線だけの場合



VHFアンテナ線だけの場合



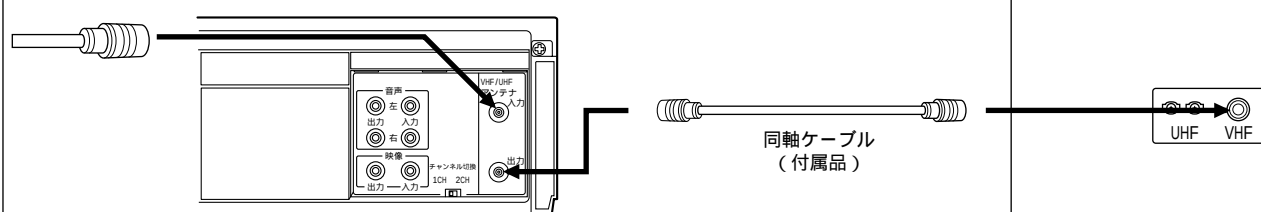
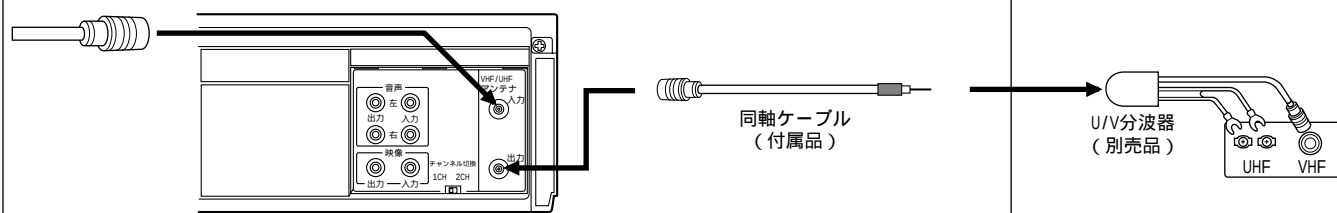
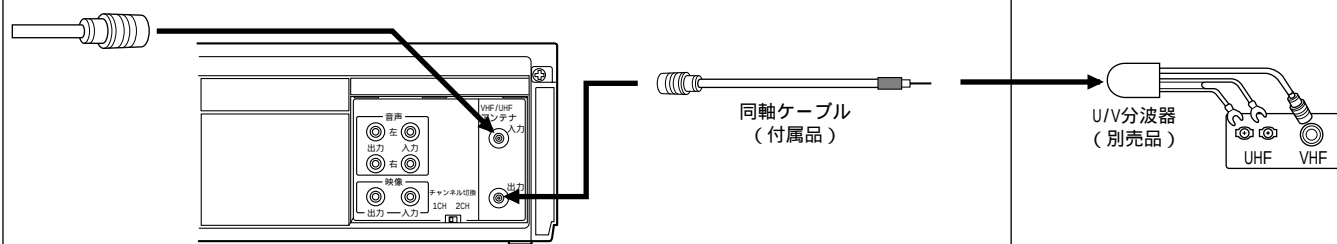
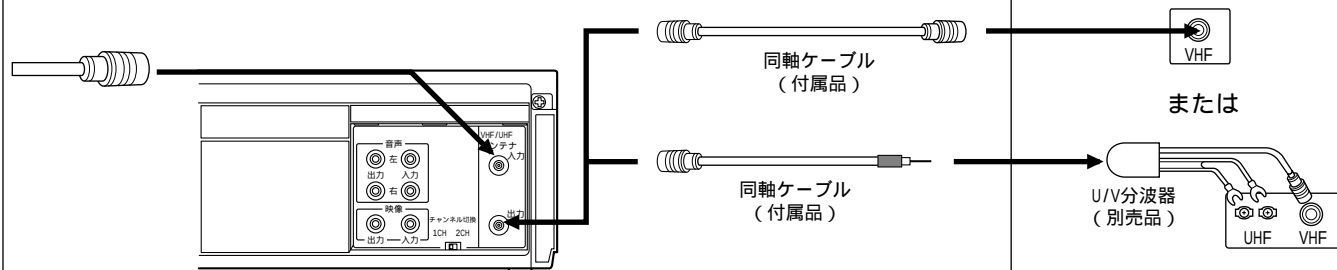
3 付属の同軸ケーブルでテレビとビデオを接続する



混合器 (別売品)

テレビのアンテナ線の種類により、アンテナ整合器 (付属品) やU/V混合器 (別売品) が必要です。
同軸ケーブルをアンテナ整合器または、U/V分波器 (別売品) に取り付けるには加工が必要です。詳しくは次ページ参照。

テレビのVHFアンテナ端子の種類により、U/V分波器 (別売品) の種類が異なります。詳しくは販売店にご相談ください。



ご注意

アンテナ線と電源コードはなるべく離してください。

U/V分波器 (別売品) /U/V混合器 (別売品) の品番は12ページに記載しております。

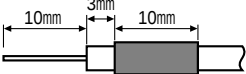
設置のしかた

アンテナ線のつなぎかた

アンテナ線と同軸ケーブルの加工のしかた

同軸ケーブルの芯線の出しかた

- 1 黒いビニールだけを切り取る
 ● 金属の網線に傷を付けないように注意してください
- 2 金属の網線を折り返す
- 3 白いビニールだけを切り取る
 ● 芯線に傷を付けないように注意してください
- 4 付属のアンテナ整合器に接続する場合は、
 下図の寸法に合わせてください

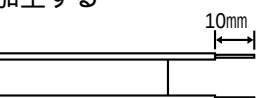


同軸ケーブルとアンテナ整合器のつなぎかた

- 1 指でつめを開きながらカバーをはずす
- 2 リード線を切る
 ● リード線を切らないでつなぐとテレビの映りが悪くなります
- 3 同軸ケーブルを取り付ける
 ● 芯線をはさみ、他に接触しないように巻きつける
 ● ペンチで金具をしめてケーブルを固定する
- 4 カバーを取り付ける

平行フィーダー線とアンテナ整合器のつなぎかた

- 1 先端を加工する
- 2 ネジをゆるめ、リード線をねじに巻きつけしっかりしめる



同軸ケーブルとU/V分波器（別売品）のつなぎかた

- 1 指でつめを開きながらカバーをはずす
- 2 同軸ケーブルを差し込みしっかりと取り付ける
 ● 芯線をはさみ込んだ後、網線部分をペンチでしめます
- 3 カバーを取り付ける

U/V分波器（別売品）の品番は12ページに記載しております。

ビデオ専用チャンネルの設定

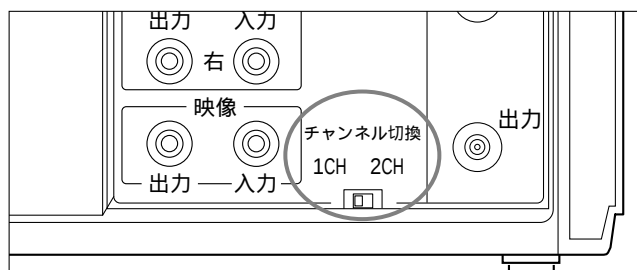
テレビとビデオをAV接続されていない場合は、ビデオとテレビの接続が終わりましたら、テレビのどのチャンネルでビデオを見るかを設定してください。

ビデオはテレビ放送の1または2チャンネル、どちらかの放送されていないチャンネルを利用して見ます。ここで選んだチャンネルが、テレビのビデオ専用チャンネルになります。東京地区では2チャンネル、大阪地区では1チャンネルがビデオ専用チャンネルになります。

1 ビデオ本体の設定をします

放送されていないチャンネルが

- 1チャンネルの場合
チャンネル切換スイッチを「1CH」にする。
- 2チャンネルの場合
チャンネル切換スイッチを「2CH」にする。



- お買い上げ時はチャンネル「2CH」に合わせてあります。放送されていないチャンネルが1のときは、「1CH」に切換えてください。
- 再生画面が映らないときはテレビのチャンネル（1または2）の調整をしてください。調整のしかたは、テレビの取扱説明書をごらんください。
- 電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談の上、ブースター（市販品）をご使用ください。

設置のしかた

2 ビデオの電源を入れる

- 電源コードをプラグに差し込み、電源ボタンを押します。
- 本体の表示部に「ビデオ」表示が出ます。

3 テレビの電源を入れ、ビデオ専用チャンネル（1または2）に合わせ

4 録画されたテープを再生し、きれいに映っていることを確認する

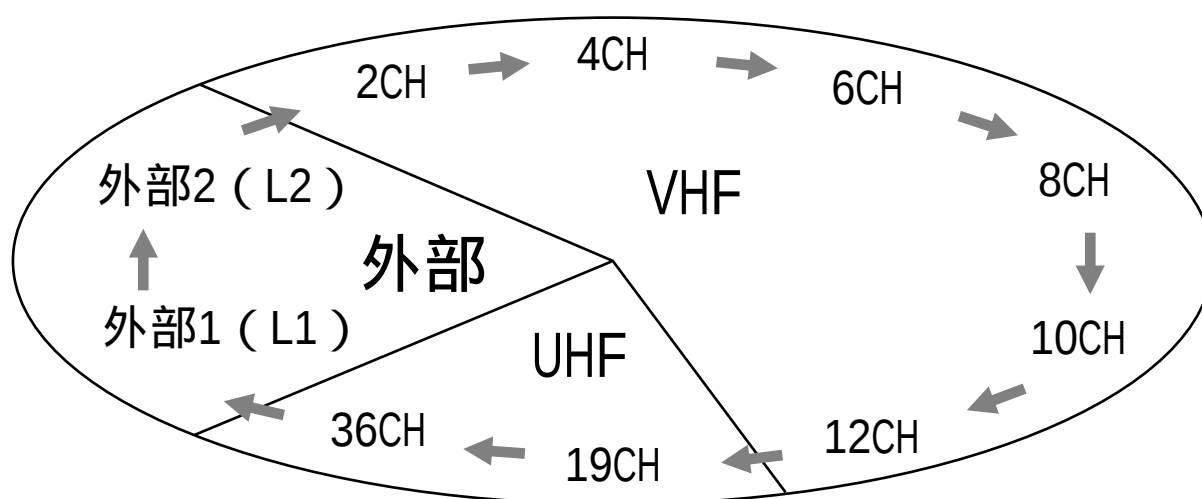
- “再生のしかた”は36ページを参照ください。

受信チャンネルの設定

受信チャンネルの設定について

本機でチャンネル設定を行なえば受信できない放送チャンネルを飛び越し（チャンネルスキップ）必要なチャンネルだけを、チャンネルボタンで選局できるように設定することができます。

受信チャンネル設定後



（例）大阪地区の場合

大阪地区の場合は、VHF放送の1CH、3CH、のような奇数チャンネルは放送されていません。チャンネル設定を行なえば、このような必要のない空チャンネルを自動的に飛び越して選局ができ、希望のチャンネルがすぐに楽しめるようになります。

ご購入の際は、全チャンネルメモリーの状態になっています。

- チャンネルボタンを使用して、飛び越し選局するには、受信チャンネルの設定が必要です。
- 設定してない場合や停電などからの復帰時には全チャンネルメモリーとなっています。
- VHF、UHFチャンネルを受信する、表示チャンネルおよび受信チャンネルを変更するには次ページのチャンネル設定の操作を行なってください。
- 引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合、停電の場合はもう一度チャンネル設定をやり直してください。

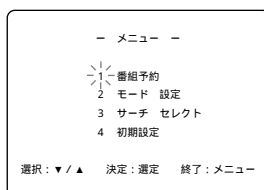
準備

- テレビ側：テレビの電源を入れ、ビデオ専用のチャンネル（1または2）に合わせる。（AVテレビとAV接続されている場合はテレビ側の入力切替などを「ビデオ」にしてください。）
- ビデオ側：ビデオの電源を入れます。本体表示部に「ビデオ」表示が出ます。

1

メニューボタンを押す

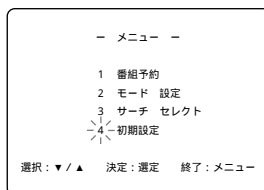
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2

「4.初期設定」を選ぶ

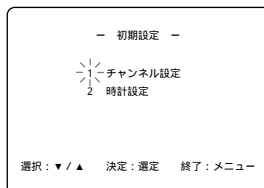
- チャンネルボタンで「4.初期設定」を選び選定ボタンを押します。



3

「1.チャンネル設定」を選ぶ

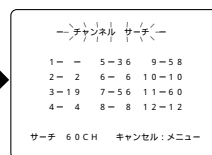
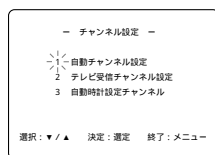
- チャンネルボタンで「1.チャンネル設定」を選び選定ボタンを押します。



4

「1.自動チャンネル設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「1.自動チャンネル設定」を選び選定ボタンを押します。
- 1チャンネルから順次、受信可能なチャンネルを探していきます。ブルーバックのテレビ画面上にサーチ中のチャンネルを順次表示します。

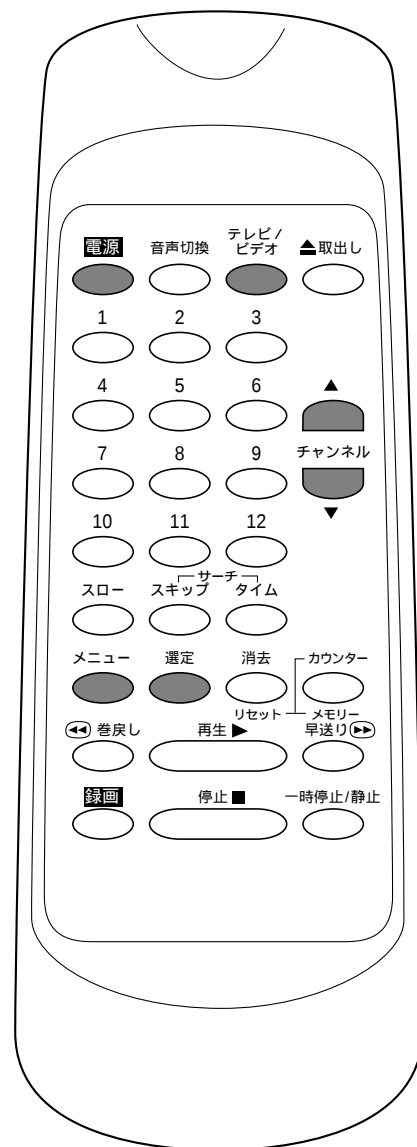


- 電源プラグを抜いても約1分間はチャンネルを記憶しています。

5

チャンネル設定完了

- サーチ終了後、自動的に放送されている最小チャンネル（大阪地区の場合2チャンネル、東京地区の場合1チャンネル）を受信します。
- チャンネルボタンを押すと空チャンネルを飛び越し選局します。



設置のしかた

ご注意

- タイマー録画、簡単予約を設定した後、自動的に自動チャンネル設定をすると予約したチャンネルが切り換わる場合がありますので、自動チャンネル設定をした場合は、タイマー録画、簡単予約設定をやり直してください。

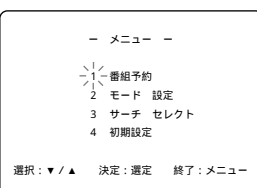
チャンネルスキップとチャンネル復帰

放送されているけれどふだんは見ないチャンネル、また電波が弱くてはっきりと映らないチャンネルなどを飛び越すように、設定できます。

たとえば【4チャンネルの電波が弱くてはっきりと映らない時に】4チャンネルをチャンネルスキップするには

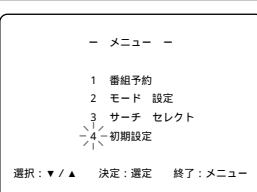
1 メニューボタンを押す

- テレビ画面がメニューモードに変わります。



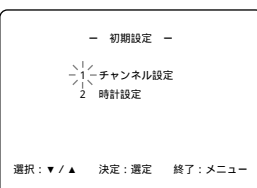
2 「4.初期設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「4.初期設定」を選び決定ボタンを押します。



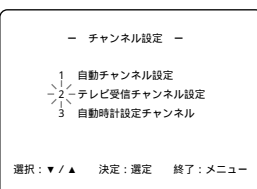
3 「1.チャンネル設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「1.チャンネル設定」を選び決定ボタンを押します。



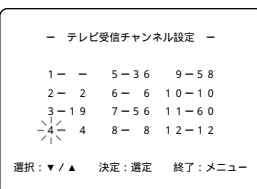
4 「2.テレビ受信チャンネル設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「2.テレビ受信チャンネル設定」を選び決定ボタンを押します。
- 現在受信中のチャンネルが画面に表示されます。



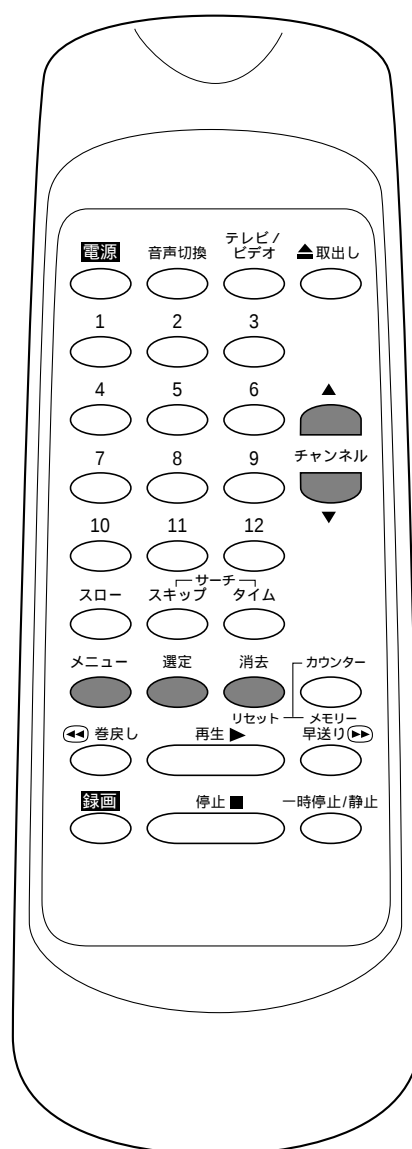
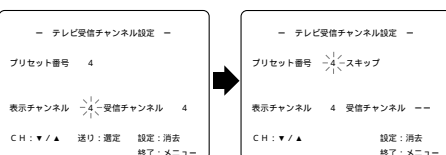
5 プリセット番号を選ぶ

- チャンネルボタンで「4」を選び決定ボタンを押します。
- プリセット番号の右に表示されているのが表示チャンネルです。



6 消去ボタンを押す

- 画面の受信チャンネルの表示が「--」に変わりスキップという表示がでます。
- スキップすると画面がブルーバックに切り替わります。



7 メニューボタンを押す

- 4チャンネルのチャンネルスキップ完了。
- 選局時に4チャンネルを飛び越し、次のチャンネルを表示します。

ご注意

- 自動チャンネル設定をしていない場合は「テレビ受信チャンネル設定」のモードに入れません。

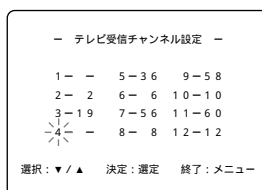
チャンネルスキップしたチャンネルをもとに戻します。

たとえば【1度チャンネルスキップした4チャンネルを復帰】するには

1 チャンネルスキップの手順1～4の操作をします

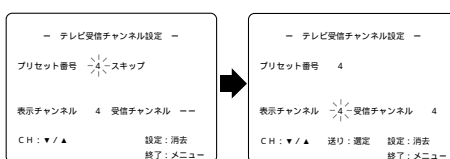
5 プリセット番号を選ぶ

- チャンネルボタンで「4」を選び選定ボタンを押します。



6 消去ボタンを押す

- 画面の受信チャンネルの表示が「4」に変わりスキップという表示が消えます。
- スキップを解除すると画面のブルーバックは解除されます。



7 メニューボタンを押す

- 4チャンネルのチャンネル復帰完了。
- 4チャンネルを選局することができます。

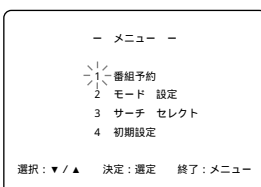
チャンネル表示設定

ポジション番号（チャンネルの順番）と表示チャンネルを変更できます。

たとえば【19チャンネルをポジション番号（チャンネルの順番）の1にセットして19チャンネル表示に】するには

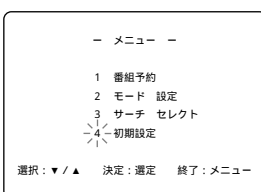
1 メニューボタンを押す

- テレビ画面がメニューモードに変わります。



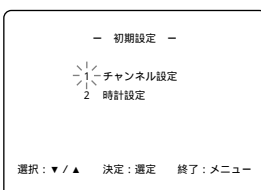
2 「4.初期設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「4.初期設定」を選び決定ボタンを押します。



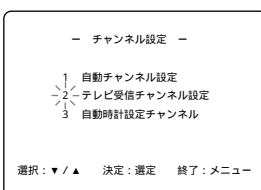
3 「1.チャンネル設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「1.チャンネル設定」を選び決定ボタンを押します。



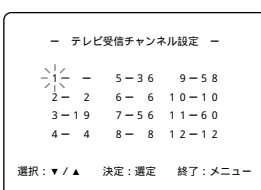
4 「2.テレビ受信チャンネル設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「2.テレビ受信チャンネル設定」を選び決定ボタンを押します。
- 現在受信中のチャンネルが画面に表示されます。



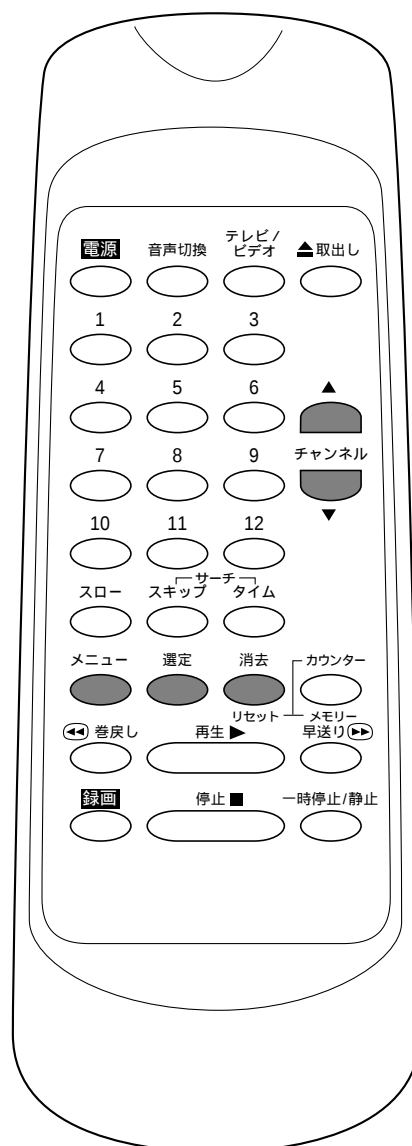
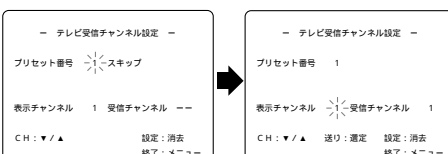
5 プリセット番号を選ぶ

- チャンネルボタンで「1」を選び決定ボタンを押します。



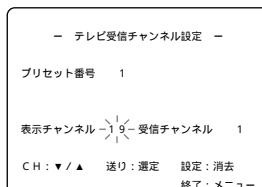
6 消去ボタンを押す

- 画面の受信チャンネルの表示が「1」に変わりスキップという表示が消えます。すでに受信チャンネル表示が出ている場合はこの操作は必要ありません。



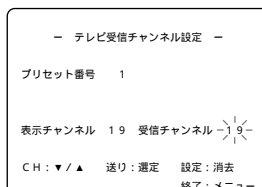
7 表示チャンネルを合わせる

- チャンネルボタンで「19」を選びます。



8 受信チャンネルを合わせる

- 選定ボタンを押し受信チャンネルを点滅させてチャンネルボタンで「19」を選局します。



9 メニューボタンを押す

- チャンネルポジションの1が19チャンネルになります。(チャンネル表示は19になります。)

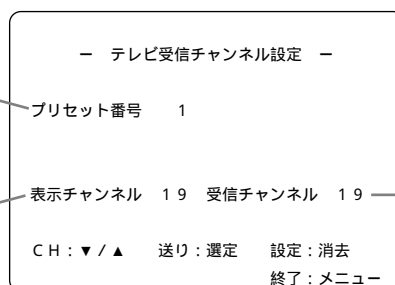
ご注意

- 自動チャンネル設定をしていない場合は「テレビ受信チャンネル設定」のモードに入れません。
- 19チャンネルを1チャンネル表示にした場合、もとのチャンネル表示は自動的に消えます。(同じ表示チャンネルは2つ以上設定できません、もし設定した場合は前に設定されていたポジション番号はスキップされます。)

設置のしかた

チャンネル表示設定画面について

- プリセット番号
(ポジション番号)
リモコンのダイレクト選局ボタンで選択できる番号です
- 表示チャンネル
オンスクリーン画面に表示されるチャンネル番号です



- 受信チャンネル
受信する放送チャンネルが表示されます

時計の合わせかた

時計表示部が「—：—」の表示になっているときは、時計を合わせてください。
たとえば【1996年7月26日金曜日午前8時30分】に合わせるとき

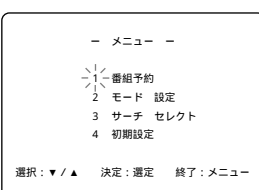
準備

- テレビ側：テレビの電源を入れ、ビデオ専用のチャンネル（1または2）に合わせる。（AVテレビの場合はテレビ側の入力切換などを「ビデオ」にしてください。）
- ビデオ側：ビデオの電源を入れます。本体表示部に「ビデオ」表示が出ます。

1

メニューボタンを押す

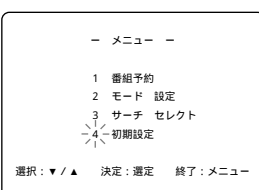
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2

「4.初期設定」を選ぶ

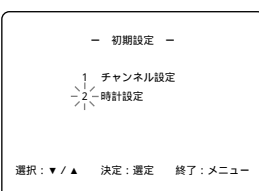
- リモコンのチャンネルボタンで「4.初期設定」を選び選定ボタンを押します。



3

「2.時計設定」を選ぶ

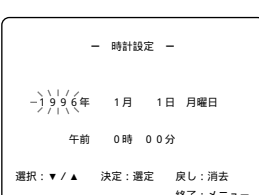
- リモコンのチャンネルボタンで「2.時計設定」を選び選定ボタンを押します。



4

年を合わせる

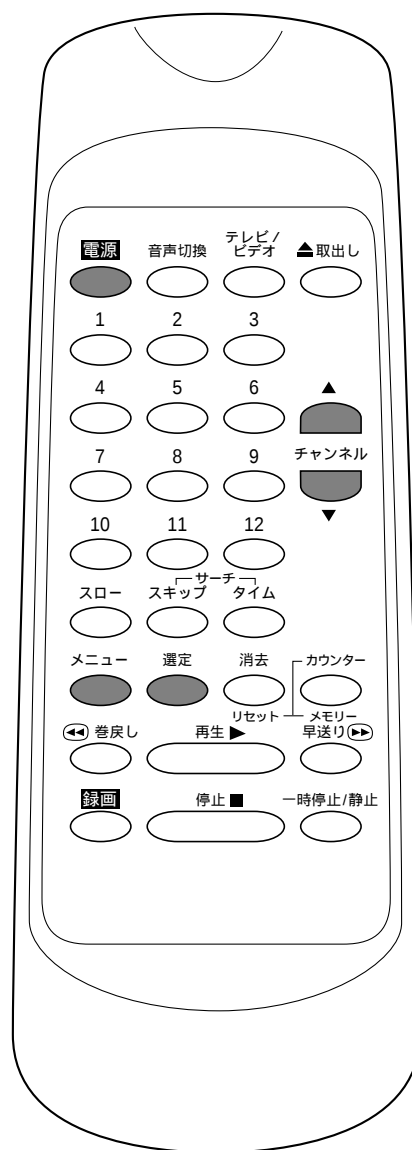
- リモコンのチャンネルボタンで「1996年」に合わせます。
2秒後表示は月入力モードに変わります。



5

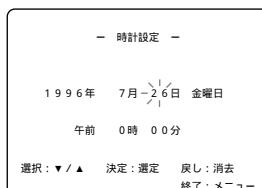
月を合わせる

- リモコンのチャンネルボタンで「7月」に合わせます。
2秒後表示は日モードに変わります。



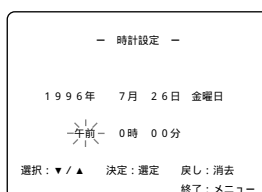
6 日を合わせる

- リモコンのチャンネルボタンで「26日」に合わせます。2秒後表示は午前、午後入力モードに変わります。
- 曜日は、日を合わせると自動的にその月のその日の曜日に設定されます。



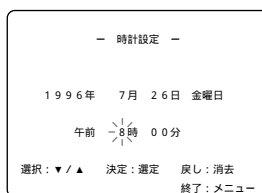
7 午前、午後を合わせる

- リモコンのチャンネルボタンで「午前」に合わせます。2秒後表示は時入力モードに変わります。



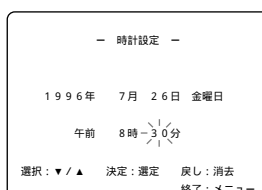
8 時を合わせる

- リモコンのチャンネルボタンで「8時」に合わせます。2秒後表示は分入力モードに変わります。



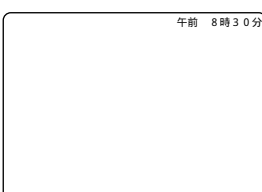
9 分を合わせる

- リモコンのチャンネルボタンで「30分」に合わせます。



10 メニューボタンを押す

- メニューボタンを押すと同時に「時計」がスタートします。
- 電話117番などの時報と同時に押すと、正確に時刻を合わせることができます。



ご注意

- 時計合わせが行なわれていない時に「番組予約」を選ぶと「時計設定」の画面になります。

- 各設定（手順4～9の操作）で初めから設定が合っている時は選定ボタンを押すと次の設定に移ります。
- リモコンの消去ボタンを押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。
- チャンネルボタンは押し続けると表示が早く変わります。
- 本機には1996年～2010年まで設定可能な15年間カレンダーが内蔵されています。
- 電源プラグを抜いても約1分間は現在時刻を記憶しています。

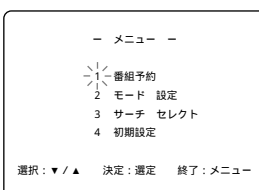
自動時計設定

自動時計設定チャンネルをセットしておく、テレビの時報に合わせてビデオの時計を自動的に修正します。

たとえば【NHK教育テレビが12チャンネルで放送されている地区】の場合は

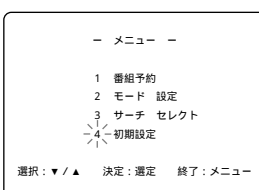
1 メニューボタンを押す

- テレビ画面がメニューモードに変わります。



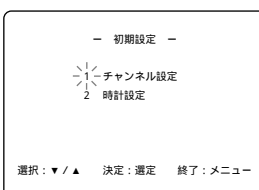
2 「4.初期設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「4.初期設定」を選び決定ボタンを押します。



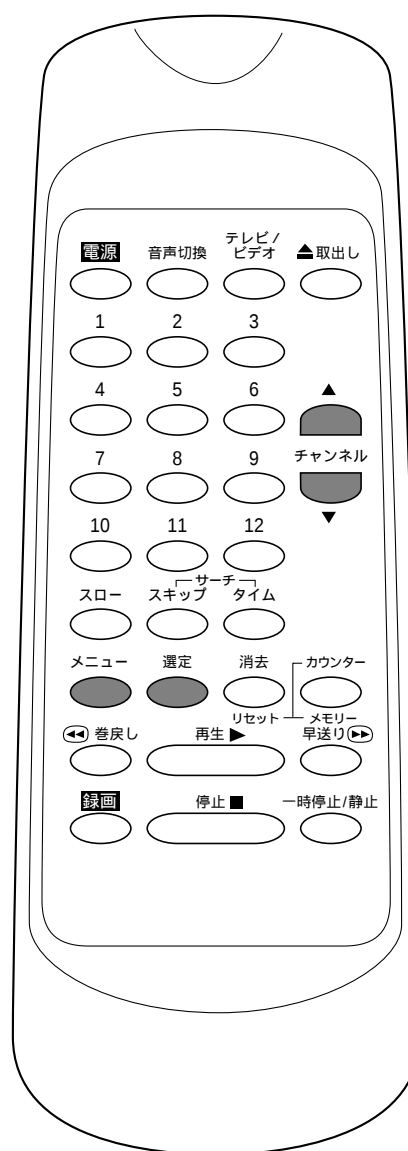
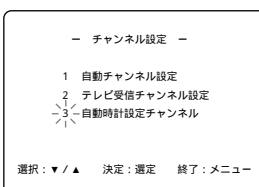
3 「1.チャンネル設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「1.チャンネル設定」を選び決定ボタンを押します。



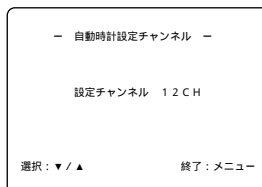
4 「3.自動時計設定チャンネル」を選ぶ

- チャンネルボタンで「3.自動時計設定チャンネル」を選び決定ボタンを押します。



5 設定チャンネルをNHK教育テレビに合わせる

- チャンネルボタンで「12CH」を選局します。
(大阪地区の場合)



チャンネルは各地域のNHK教育テレビのチャンネルに合わせてください。

- 毎日3回(7、12、19時)自動的に時計を修正してくれます。ただし本機を使用中(電源が入っている時)は動作しません。

6 メニューボタンを押すと通常画面にもどります

ご注意

- 本機をAVテレビとAV接続してご使用の場合、テレビの電源が入った状態で、入力切換などをビデオにすると時計合わせの前後20分の間テレビ画面がブルーバックになりますが故障ではありません。
- 時計表示が設定されていない時(「— : —」表示になっている時)は、時計合わせを行なってください。
- 現在時刻のずれが±20分以内でないと自動的に時計修正することができません。このようなときは、時計合わせを行なってください。
- 1分以上の停電があった場合、または1分以上コンセントを抜いていた場合は、本機のバックアップ機能が働きませんので再度設定してください。
- 「自動チャンネル設定」および「テレビ受信チャンネル設定」でチャンネルを設定し直した場合は、再度設定してください。

音声多重放送について

本機をステレオテレビやお手持ちのステレオと接続するとステレオ放送や二重音声（2カ国語）放送を楽しめます。

送られてくる音声の選びかた

音声多重放送を放送中のチャンネルを選局する、または音声多重放送を受信中に選定ボタンを押すとテレビ画面に音声表示が出ます。

ステレオ放送を受信したとき、Hi-Fi録画されたテープの再生時

- 自動的にステレオモードに切り換わります。
- 音声切換ボタンを押すことにより音声と音声表示が、「ステレオ→左音声→右音声→モノラル」に切り換わります。

音声モード	ステレオ放送受信時 Hi-Fiテープ再生時	画面表示
ステレオ	ステレオで聞こえる	ステレオ
左（主）	両方のスピーカーから 左の音声聞こえる	左音声
右（副）	両方のスピーカーから 右の音声聞こえる	右音声
ノーマル	モノラルで聞こえる	モノラル

ステレオ放送受信時
Hi-Fiテープ再生時

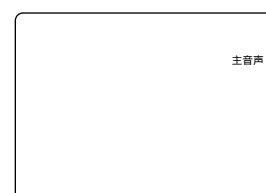


二重音声放送（2カ国語放送）を受信したとき

- 音声は自動的に二重音声モードに切り換わります。
- 音声切換ボタンを押すことにより音声と音声表示が、「主音声→副音声→主：副」に切り換わります。このとき音声モードが記憶され次に二重音声放送を受信すると前に記憶した音声モードに自動的に切り換わります。

音声モード	二重音声放送受信時	画面表示
ステレオ	左から主音声（日本語）が聞こえる 右から副音声（外国語）が聞こえる	主：副
左（主）	両方のスピーカーから 主音声（日本語）が聞こえる	主音声
右（副）	両方のスピーカーから 副音声（外国語）が聞こえる	副音声
ノーマル	—————	表示なし

二重音声放送受信時



本機は、次の2つの方法で録音します。

Hi-Fi録音

音声専用回転ヘッドによるFM録画方式を使い、すぐれたHi-Fi音声で録音や再生をします。

Hi-Fi録音では、ステレオ放送はステレオで、二重音声（2カ国語）放送は左chに主音声、右chに副音声 that 記録されます。

ノーマル録音

従来のビデオと同じ録音方式でモノラルで録音します。

ノーマル録音では、ステレオ放送はモノラルで録音され、二重音声（2カ国語）放送は主音声（日本語）だけが録音されます。録画レベルは、自動的に適切なレベルに設定されます。

ご注意

- Hi-Fi録音以外のテープを再生すると、自動的にノーマルになります。
- Hi-Fi録音されたテープを、Hi-Fi方式でないビデオデッキで再生した場合はモノラル音声になります。
- 映像 / 音声入力端子のないテレビと接続し、二重音声放送の主：副を選択したときは両方の音声 that テレビから出力されますので音声切替ボタンで聞きたい音声を選択してください。

再生のしかた

ビデオカセットテープの再生をするには

準備

- テレビ側：テレビの電源を入れ、ビデオ専用のチャンネル（1または2）に合わせる。（AVテレビとAV接続されている場合は、テレビ側の入力切替などを「ビデオ」にしてください。）

1

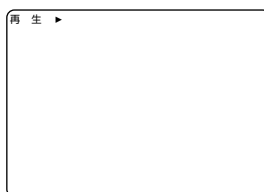
録画されたビデオカセットテープを入れる

- 自動的に電源が入ります。（ビデオカセットテープがすでに入っているときは、本体の再生ボタンを押すと自動的に電源が入り再生が始まります。）
- ツメを折ったビデオカセットテープを入れると、自動的に再生が始まります。

2

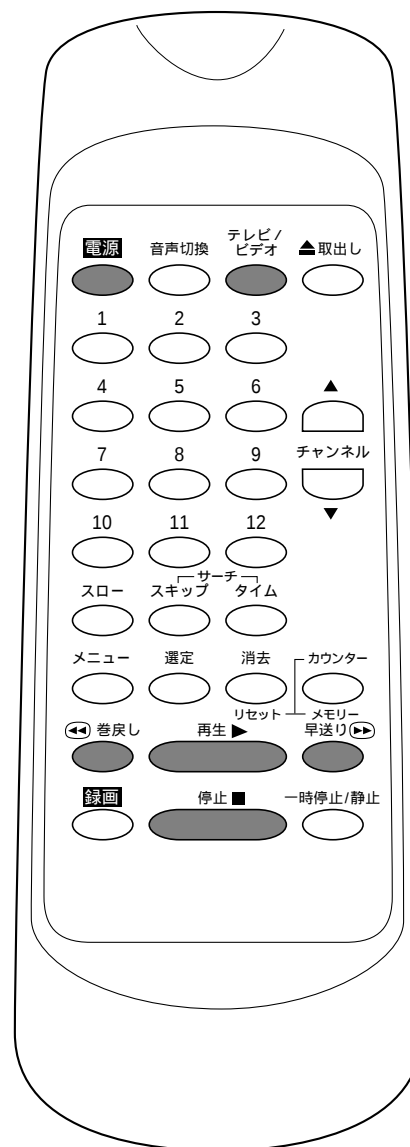
再生ボタンを押す

- 再生が始まります。
Hi-Fi録画されたテープを再生した時はステレオ表示がでます。



3

停止ボタンを押すと再生は止まります



S-VHS簡易再生機能(SQPB)について

S-VHS方式で録画されたビデオカセットテープを簡易的に見ることができます

“再生のしかた”はノーマルVHSテープと同じです

- S-VHSかノーマルVHSテープかを自動的に判別し再生します。
- S-VHS本来の高解像度は得られません。また画面にノイズがでる場合があります。
- 本機では、S-VHS録画はできません。
- SQPBとはS-VHS Quasi Playbackの略です。
- ビデオサーチ・静止の時は映像が乱れたり色が抜けたりします。

- 電源オン時にカセットテープを入れた状態で電源プラグを抜き、再び差し込むと、自動的に約5秒間巻き取り動作を行います。
- 再生中にテープが終わると自動的にテープを巻戻し、ビデオカセットテープを排出して電源が切れます。
- ビデオカセットテープ挿入直後や、再生停止のあと再生ボタンを押すと約1.5秒で画面に映像がでます。（クイックプレイ機能）

再生中に、テレビ番組などを見るには

1 テレビ / ビデオ切換ボタンを押す

- 本体表示部の「ビデオ」表示を消します。

2 テレビ側で見たい番組を選ぶ

早送り、巻戻しをするには

1 停止状態になっていることを確認する

2 早送りボタン（または巻戻しボタン）を押す

3 停止ボタンを押すと早送り（または巻戻し）は止まります

ご注意

- 停止後5分以上経つと、テープ保護のためクイックプレイ機能は働きません。
- デジタルトラッキング調整中は、画面にノイズがでることがあります。
- 他のビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを静止画再生にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。
- 録画状態の悪いテープの場合、デジタルトラッキング調整では最良点に合わないことがあります。ノイズが少なくなるしないときは、マニュアルトラッキング調整をしてください。

レンタルセクターについて

ダビングテープ、レンタルビデオカセットテープなどの映像ノイズを再生時に低減するための機能です。

- レンタル オン - レンタルビデオカセットテープ、ダビングテープ、などの再生時に、映像ノイズを低減します。
- レンタル オフ - 上記以外の通常の再生時はオフに設定します。

操作方法は55ページをご覧ください。

トラッキング調整について

他のビデオで録画したテープを本機で再生すると、映像にノイズがでる場合があります。その調整を行なうのがトラッキング調整で、デジタル調整とマニュアル調整の2つの方法があります。テープを再生するとデジタルトラッキング調整が自動的に行われますが、ノイズが少なくなるしない場合はマニュアルトラッキング調整をしてください。

（デジタルトラッキング調整）

再生中、自動的に調整します。

- 自動調整中は、デジタルトラッキング表示が点滅し、調整後は点灯します。

（マニュアルトラッキング調整）

デジタルトラッキング時にテレビ画面を見ながら本体のチャンネル（▼▲）ボタンで、ノイズが最も少なくなる位置に合わせてください。

- ビデオカセットテープを入れ直すとデジタルトラッキングに戻ります。
- マニュアルトラッキングからデジタルトラッキングにする時は、1度停止ボタンを押してから再生してください。

テレビ番組の録画

番組を見ながら録画するには

準備

- テレビ側：テレビの電源を入れ、ビデオ専用のチャンネル（1または2）に合わせる。（AVテレビとAV接続されている場合は、テレビ側の入力切替などを「ビデオ」にしてください。）

1

ツメの折れていないビデオカセットテープを入れる

- 自動的に電源が入ります。
（ビデオカセットテープが入っているときは、電源ボタンを押します。）

2

録画スピードを選ぶ

- 本体の標準 / 3倍ボタンで録画スピードを選びます。
「標準（SP）」モード.....画質を優先したいとき
「3倍（EP）」モード.....録画時間を長くしたいとき

3

チャンネルを選ぶ

- チャンネルボタンで選局します。

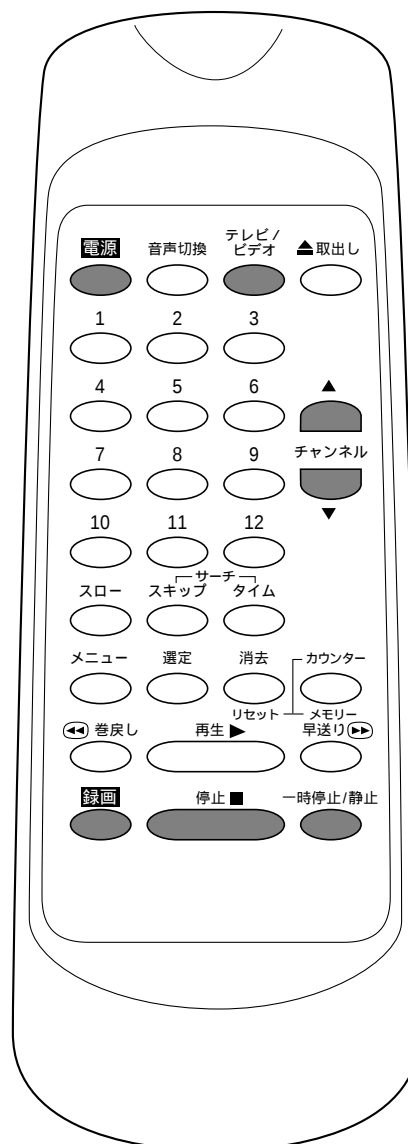
4

録画ボタンを押す

- 録画が始まります。

5

停止ボタンを押すと録画は止まります



録画中にコマーシャルなどをカットするには

1 一時停止/静止ボタンを押す

- テープの走行は一時停止します。

ご注意

一時停止が5分以上続くと、自動的に録画を停止します。

2 もう一度、一時停止 / 静止ボタンを押すと録画を再開します

- 録画ボタンを押しても、録画を再開することができます。

録画スピードについて

- 本体の標準 / 3倍ボタンで録画スピードを選びます。
- テレビ画面に「標準」または「3倍」と表示します。
- 画質、音声を優先するときは「標準」、録画時間を経済的に長くするときは「3倍」で録画してください。
- 「3倍」で録画すると、画質、音質は「標準」より劣ります。

うら番組（同じ時間帯の別番組）を録画するには

1 「テレビ番組の録画」を始める

- 「番組を見ながら録画するには」の手順1～4の操作をします。

5 テレビ / ビデオ切換ボタンを押す

- 本体の表示部の「ビデオ」表示を消します。

6 テレビ側で見たい番組を選ぶ

- ビデオで選んだ番組は録画されています。

録画中にテープが終わると

- 自動的にテープを巻戻し、ビデオカセットテープを排出して電源が切れます。

録画中に録画チャンネルを変えるには

- 一時停止 / 静止ボタンを押してから、チャンネルボタンで変えます。

タイマー録画

あらかじめ予約した開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると電源が切れます。1年以内の7つの番組の録画、または毎日録画、毎週録画を予約できます。

たとえば【予約番号1、1996年7月26日（金曜日）午後10:00～午後11:15、6チャンネルの番組、録画スピード「3倍」】を予約するとき

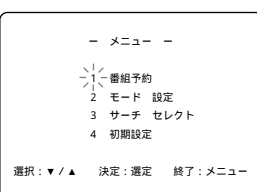
準備

- 時計が合っていることを確認する。
- ツメの折れていないビデオカセットテープを入れる。
（自動的に電源が入ります。ビデオカセットテープが入っているときは、電源ボタンを押します。）

1

メニューボタンを押す

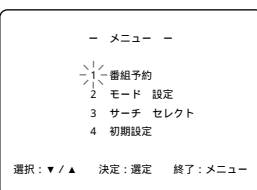
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2

「1.番組予約」を選ぶ

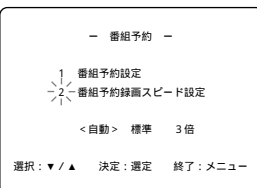
- チャンネルボタンで「1.番組予約」を選び選定ボタンを押します。



3

「2.予約録画スピード設定」を選ぶ

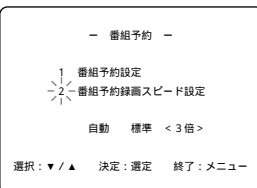
- チャンネルボタンで「2.予約録画スピード設定」を選びます。



4

録画スピードを選ぶ

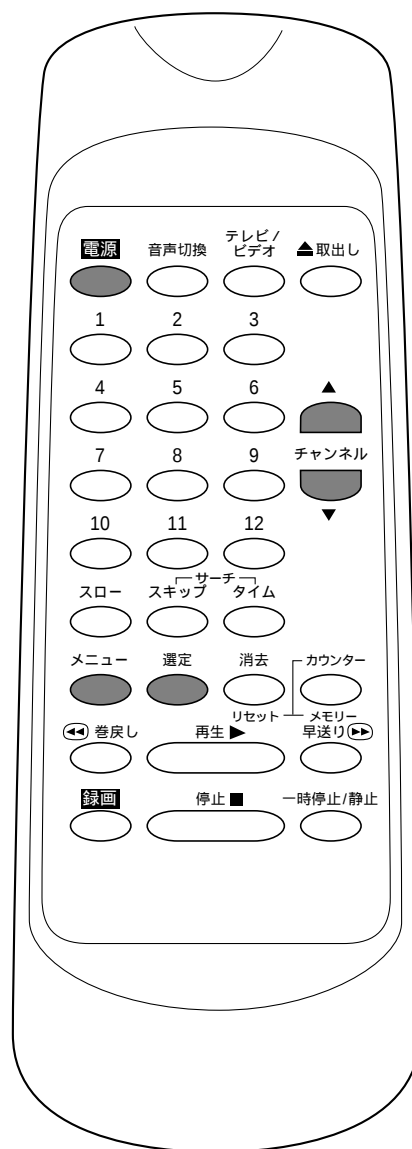
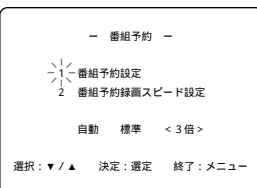
- 選定ボタンで「3倍」を選びます。



5

「1.番組予約設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「1.番組予約設定」を選び選定ボタンを押します。



録画スピードについて

タイマー録画の予約番号1～7、簡単予約はすべて「予約録画スピード設定」で設定されている録画スピードになります。

「予約録画スピード設定」は予約別には設定できません。

6 予約番号を選ぶ

- チャンネルボタンで予約番号を選び選定ボタンを押します。
- 「簡単」は簡単予約確認用ですので、オンスクリーンでの予約はできません。

7月14日 日曜日 午前10時10分

予約番号	1
日付	7月14日 日曜日
開始時間	午前10時10分
終了時間	
チャンネル	

選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー

- 各設定（手順6～13）の選択をチャンネルボタンでした場合は次の設定に自動的に移ります。
- 初めから設定が合っている時は選定ボタンを押すと次の設定に移ります。
- 消去ボタンを押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

7 日付（月）を合わせる

- 本日の日付が表示されていますのでチャンネルボタンで「7月」に合わせます。
2秒後に表示は日モードに変わり14が点滅します。
- 合わせたい月が表示されている場合は選定ボタンを押します。

7月14日 日曜日 午前10時10分

予約番号	1
日付	7月14日 日曜日
開始時間	午前10時10分
終了時間	
チャンネル	

選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー

ご注意

タイマー予約は、時計を合わせていないと設定できません。

時計を合わせていないときに「1.番組予約」を選び選定ボタンを押すと自動的に「時計合わせ」画面になります。

毎週同じ曜日・チャンネル・時刻の番組を録画する（毎週録画）場合は

チャンネルボタンで「毎週金曜日」を選び、選定ボタンを押します。

7月14日 日曜日 午前10時10分

予約番号	1
日付	毎週金曜日
開始時間	午前10時10分
終了時間	
チャンネル	

選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー

毎日同じチャンネル・時刻の番組を録画する（毎日録画）場合は

チャンネルボタンで「毎日」を選び、選定ボタンを押します。

7月14日 日曜日 午前10時10分

予約番号	1
日付	毎日
開始時間	午前10時10分
終了時間	
チャンネル	

選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー

8 日付（日）を合わせる

- チャンネルボタンで「26日」に合わせ、選定ボタンを押します。
2秒後に表示は午前／午後モードに変わり午前が点滅します。

7月14日 日曜日 午前10時10分

予約番号	1
日付	7月26日 金曜日
開始時間	午前10時10分
終了時間	
チャンネル	

選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー

9 開始時刻（午前、午後）を選ぶ

- 現在時刻が表示されていますのでチャンネルボタンで「午後」を選びます。
2秒後に表示は時モードに変わり10が点滅します。

7月14日 日曜日 午前10時10分

予約番号	1
日付	7月26日 金曜日
開始時間	午後10時10分
終了時間	
チャンネル	

選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー

タイマー録画

10 開始時刻（時）を合わせ

- チャンネルボタンで「10時」に合わせます。
2秒後に表示は分モードに変わり10が点滅します。

7月14日 日曜日 午前10時10分	
予約番号	1
日 付	7月 26日 金曜日
開始 時間	午後 10時10分
終了 時間	
チャンネル	
選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー	

11 開始時刻（分）を合わせ

- チャンネルボタンで「00分」に合わせます。
2秒後に表示は時モードに変わり10が点滅します。

7月14日 日曜日 午前10時10分	
予約番号	1
日 付	7月 26日 金曜日
開始 時間	午後 10時00分
終了 時間	
チャンネル	
選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー	

12 終了時刻（時）を合わせ

- チャンネルボタンで「午後11時」に合わせます。
2秒後に表示は分モードに変わり00が点滅します。

7月14日 日曜日 午前10時10分	
予約番号	1
日 付	7月 26日 金曜日
開始 時間	午後 10時00分
終了 時間	午後 11時00分
チャンネル	
選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー	

13 終了時刻（分）を合わせ

- チャンネルボタンで「15分」に合わせます。
2秒後に表示はチャンネルモードに変わり現在受信中のチャンネルが点滅します。

7月14日 日曜日 午前10時10分	
予約番号	1
日 付	7月 26日 金曜日
開始 時間	午後 10時00分
終了 時間	午後 11時15分
チャンネル	
選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー	

14 チャンネルを合わせ

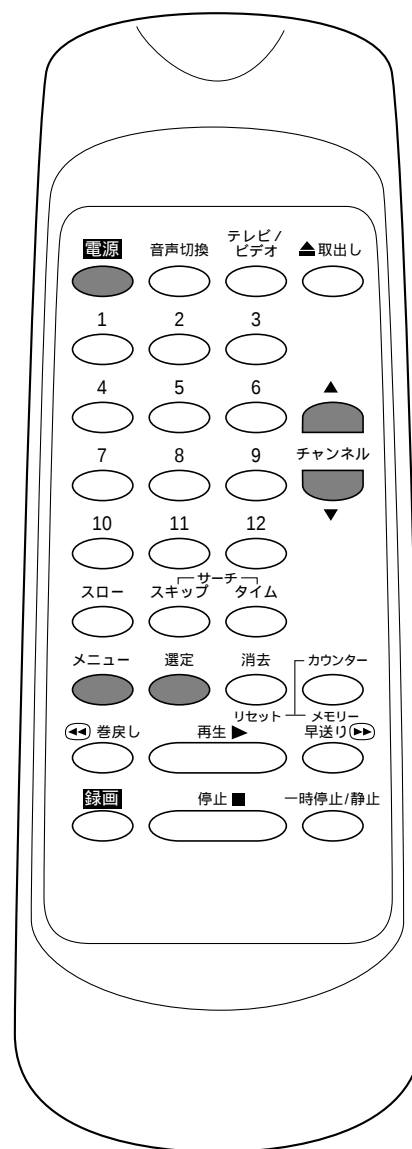
- チャンネルボタンで「6」に合わせます。

7月14日 日曜日 午前10時10分	
予約番号	1
日 付	7月 26日 金曜日
開始 時間	午後 10時00分
終了 時間	午後 11時15分
チャンネル	6
選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー	

15 メニューボタンを押すと通常画面にもどります

他にも録画予約をするときは選定ボタンを押す

- 予約番号選択（手順6）になります。
手順6から操作を行ってください。



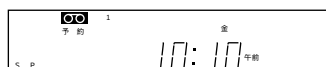
- タイマー録画終了時間設定の「午前」、「午後」は、タイマー録画開始時間から12時間以内になるように自動設定されます。

ピッタリ録画とは

- 録画スピードを「自動」にした場合、最初は「標準」で録画を始め、途中でテープがなくなる場合、録画スピードを自動的に「3倍」に切り換えその予約がテープ途中で切れないようにする機能です。
- 録画予約の全ての予約の合計時間を計算し録画をします
- 最初から「3倍」で録画しても録画時間が足りないときは、最後まで録画されません。

16 電源ボタンを押す

- 本体の表示部に「予約」表示が出ます。
- ツメの折れたビデオカセットテープが入っている場合、ビデオカセットテープは自動的に排出されます。
- ビデオカセットテープが入っていない場合は、「予約」表示が点滅します。



タイマー録画中に本体の停止ボタンを押すとタイマー録画は止まります

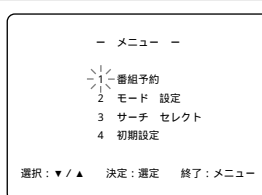
- タイマー録画中の一時停止はできません。

オートリターン

タイマー録画が終了すると、自動的にテープを巻き戻します。

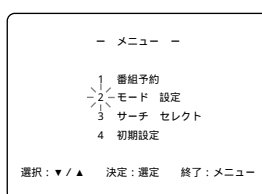
1 メニューボタンを押す

- テレビ画面がメニューモードに変わります。



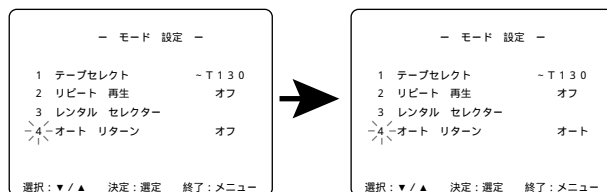
2 「2.モード設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「2.モード設定」を選び選定ボタンを押します。



3 「4.オートリターン」を選ぶ

- チャンネルボタンで「4.オートリターン」を選び選定ボタンを押します。
- 設定後メニューボタンを押すと通常画面に戻ります。



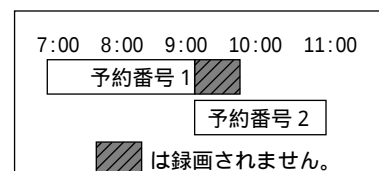
- 全てのタイマー録画終了後、最初のタイマー録画開始地点までテープを巻き戻し電源が切れます。
- 毎日/毎週予約をしているときはオートリターン機能は働きません。

タイマー録画セット後は

- 録画開始時刻までは電源が切れています。録画開始時刻までに本機を使用するときは、電源ボタンを押し、タイマーセットを解除してください。
- タイマー録画中にテープが終わりまできると、自動的に録画を停止し、ビデオカセットテープを排出して電源が切れます。

予約した時間が重なると

- 同じ時間に予約が重なっている場合は、録画時刻の遅い方を優先します。たとえば下図のような予約の場合、予約番号1の番組が7時から9時まで録画されたあと、予約番号2の番組が9時から11時まで録画されます。



本体のオートリターンボタンを使って設定する場合は

- タイマー録画終了後にオートリターンボタンを押してください。最初のタイマー録画開始地点までテープを巻き戻し停止します。(電源は入ったままです)
- 次の予約がまだ残っている場合は、電源ボタンを押しタイマーセットを解除してからオートリターンボタンを押してください。
- タイマー録画中はオートリターン機能は働きません。ストップボタンを押し録画を止めてからオートリターンボタンを押してください。
- オートリターンボタンを押す前に再生、巻き戻しなど他のボタンを押すとオートリターン機能は働きません。

予約内容の確認

タイマー録画セット後に予約内容を確認できます。

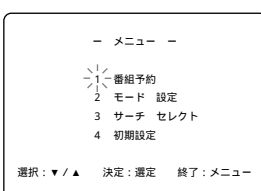
準備

- 電源ボタンを押し本体表示部の「予約」表示を消す。

1

メニューボタンを押す

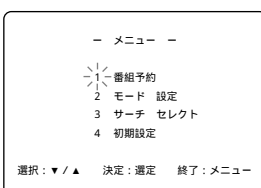
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2

「1.番組予約」を選ぶ

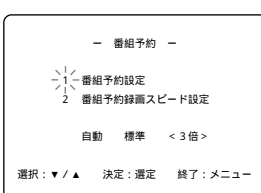
- チャンネルボタンで「1.番組予約」を選び選定ボタンを押します。



3

「1.番組予約設定」を選ぶ

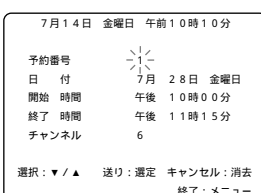
- チャンネルボタンで「1.番組予約設定」を選び選定ボタンを押します。



4

確認したい予約番号を選ぶ

- チャンネルボタンで確認したい予約番号を選びます。



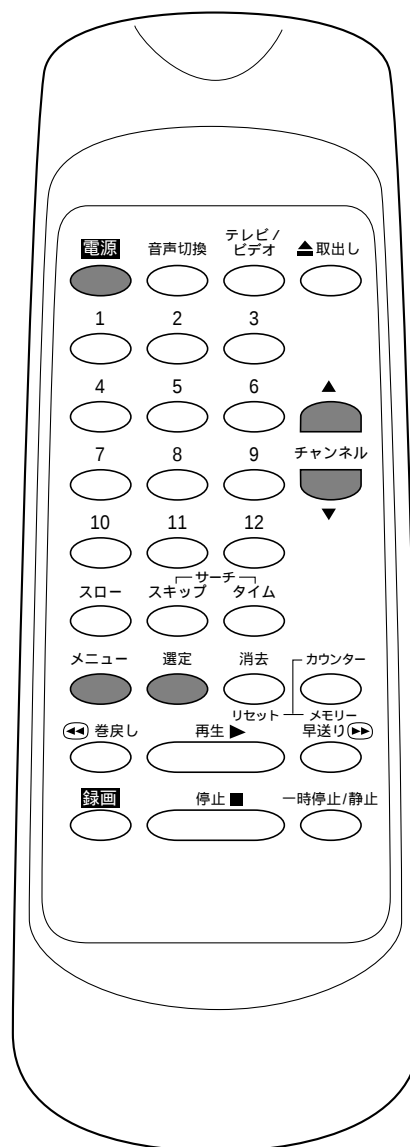
5

メニューボタンを押すと通常画面にもどります

6

電源ボタンを押す

- 本体表示部に「予約」表示を出す。



予約内容の取り消し

タイマー録画セット後に予約内容を取り消すことができます。

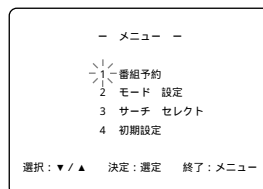
準備

- 電源ボタンを押し本体表示部の「予約」表示を消す。

1

メニューボタンを押す

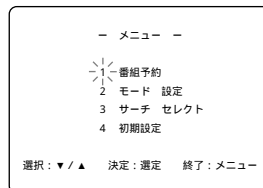
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2

「1.番組予約」を選ぶ

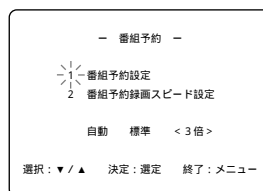
- チャンネルボタンで「1.番組予約」を選び選定ボタンを押します。



3

「1.番組予約設定」を選ぶ

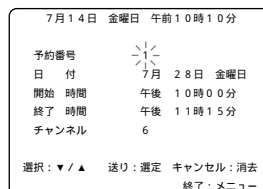
- チャンネルボタンで「1.番組予約設定」を選び選定ボタンを押します。



4

取消したい予約番号を選ぶ

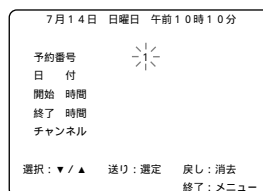
- チャンネルボタンで取消したい予約番号を選びます。



5

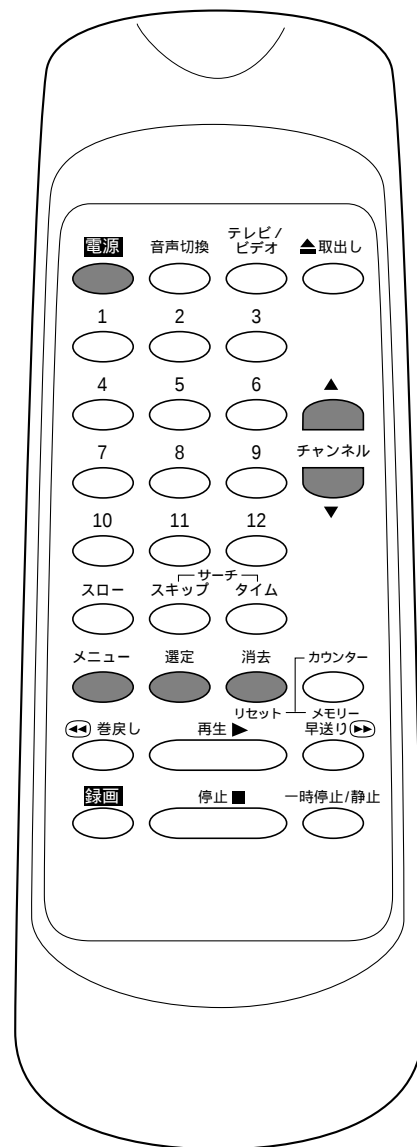
消去ボタンを押す

- 予約内容が取り消されます。



6

メニューボタンを押すと通常画面にもどります



基本的な使いかた

予約内容の修正

タイマー録画セット後に予約内容を修正できます。

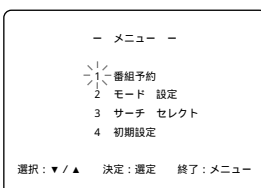
準備

- 電源ボタンを押し本体表示部の「予約」表示を消す。

1

メニューボタンを押す

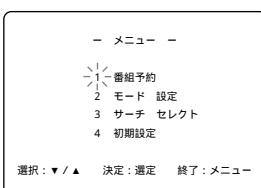
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2

「1.番組予約」を選ぶ

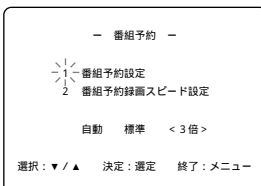
- チャンネルボタンで「1.番組予約」を選び選定ボタンを押します。



3

「1.番組予約設定」を選ぶ

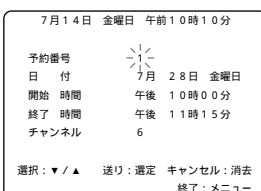
- チャンネルボタンで「1.番組予約設定」を選び選定ボタンを押します。



4

修正したい予約番号を選ぶ

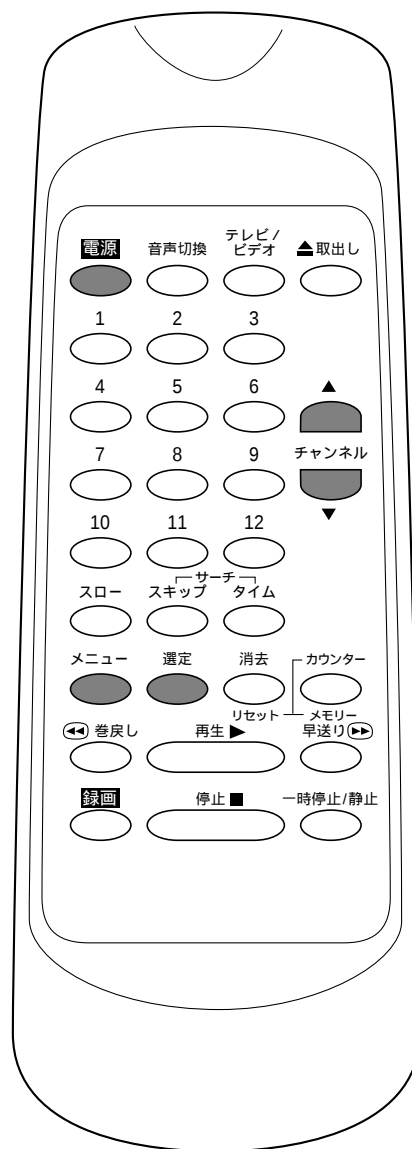
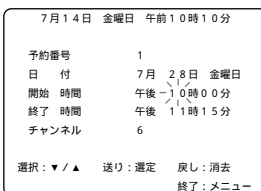
- チャンネルボタンで修正したい予約番号を選び選定ボタンを押します。



5

修正したい表示を点滅させる

- 選定ボタンで修正したい表示まで送ります。



6 チャンネルボタンで修正する

7月14日 金曜日 午前10時10分	
予約番号	1
日付	7月 28日 金曜日
開始時間	午後 11時00分
終了時間	午後 11時15分
チャンネル	6
選択：▼/▲ 送り：選定 戻し：消去 終了：メニュー	

7 メニューボタンを押すと通常画面にもどります

8 電源ボタンを押す

- 本体表示部に「予約」表示を出す。

録画スピードを変更するには

タイマー録画、簡単録画の録画スピードを変更できます。

(タイマー録画中は「予約録画スピード設定」はできません。)

たとえば【すべての録画予約の録画スピードを「標準」】にすると

1 「タイマー録画」の手順1～2の操作をします

3 「2.予約録画スピード設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「2.予約録画スピード設定」を選びます。

— 番組予約 —	
番組予約設定	
2 番組予約録画スピード設定	
自動	標準 < 3倍 >
選択：▼/▲ 決定：選定 終了：メニュー	

4 録画スピードを選ぶ

- 選定ボタンで「標準」を選びます。
- 録画スピード「自動」を選んでおくとピッタリ録画の設定になります。

— 番組予約 —	
番組予約設定	
番組予約録画スピード設定	
自動	< 標準 > 3倍
選択：▼/▲ 決定：選定 終了：メニュー	

録画スピードについて

- タイマー録画の予約番号1～7、簡単予約はすべて「予約録画スピード設定」で設定されている録画スピードになります。
「予約録画スピード設定」は予約別には設定できません。

簡単予約

現時刻より24時間以内の録画なら本体の各設定ボタンで時間とチャンネルを設定するだけで簡単に録画予約ができます。

たとえば【午後11:00～午後11:30、6チャンネルの番組】を予約するとき

準備

- 時計が合っていることを確認する。
- ツメの折れていないビデオカセットテープを入れる。
(自動的に電源が入ります。ビデオカセットテープが入っているときは、電源ボタンを押します。)

1

簡単予約ボタンを押す

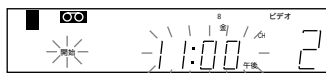
- 本体表示部の予約番号8が点灯します。



2

開始時間(時:分)を合わせ

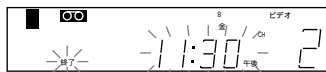
- 本体の開始時間入力ボタンで午後11:00に合わせます。



3

終了時間(時:分)を合わせ

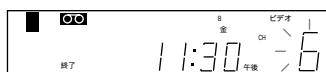
- 本体の終了時間入力ボタンで午後11:30に合わせます。



4

チャンネルを合わせ

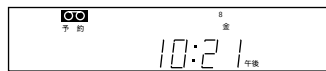
- 本体のチャンネルボタンで6チャンネルに合わせます。



5

電源ボタンを押す

- 本体表示部に「予約」表示が出ます。



簡単予約録画中に本体の停止ボタンを押すと簡単予約録画は止まります

- 簡単予約録画中の一時停止はできません。

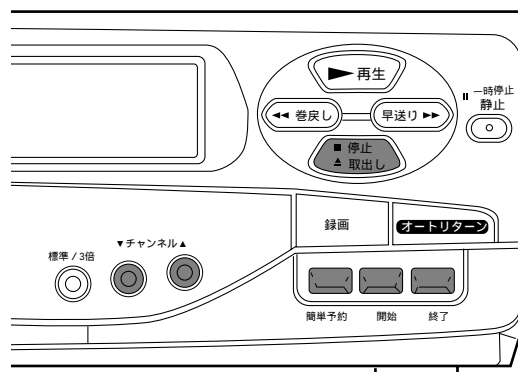
ご注意

- リモコンでは簡単予約はできません。

- 予約内容を修正したいときは、電源を入れ手順1からやり直してください。
- 予約内容を取り消したいときは、電源を入れ開始時間設定モードにし、本体の停止/取出しボタンを押してください。
- 予約内容を確認したいときは、簡単予約スタンバイ中に簡単予約ボタンを押します。(簡単予約ボタンを押すとデジタル表示部は「録画開始時間→録画終了時間→現在時間」を表示していきます。) また、電源を入れメニューの録画予約の画面で簡単予約を選ぶことによって確認することができます。

録画スピードについて

- タイマー録画の予約番号1～7、簡単予約はすべて「予約録画スピード設定」で設定されている録画スピードになります。
「予約録画スピード設定」は予約別には設定できません。



ワンタッチタイマー録画

すぐに録画を始めることができ、録画時間を30分単位で最大8時間まで設定できる、簡単・手軽なタイマー録画です。

テレビを見ている途中で「電話がかかってきた」「急にお客様が来られた」「録画中に外出する用事ができた」といったときに便利です。

準備

- ツメの折れていないビデオカセットテープを入れる。
(自動的に電源が入ります。ビデオカセットテープが入っているときは、電源ボタンを押します。)

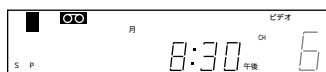
ご注意

- リモコンではワンタッチタイマー録画はできません。
- タイマー録画セット中にはワンタッチタイマー録画はできません。

1

チャンネルと録画スピードを合わせる

- チャンネルボタンでチャンネルを合わせます。
- 本体の標準 / 3倍ボタンで録画スピードを選びます。
「標準 (SP)」...画質を優先したいとき
「3倍 (EP)」...録画時間を長くしたいとき



2

本体の録画ボタンを数回押す

- 1回押すと通常の録画になります。
- 押すごとに30分単位で録画時間が加算されます。
- ワンタッチ (OTR) 表示が出ます。
- ツメの折れたビデオカセットテープが入っている場合、ビデオカセットテープは出てきます。
- 録画時間が終了すると自動的に電源が切れます。



- ワンタッチタイマー録画中はワンタッチタイマー機能とストップ機能以外は働きません。一時停止などもできません。
- ワンタッチタイマー録画中にテープが終わりまできると、自動的に録画を停止し、ビデオカセットテープを排出して、電源が切れます。
- ワンタッチタイマー録画中に停電があると、録画が停止して電源が切れます。通電後も録画は再開しません。

基本的な使いかた

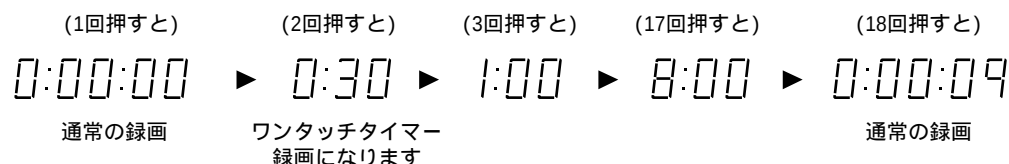
ワンタッチタイマー録画中に停止ボタンを押すとワンタッチタイマー録画は止まります

録画時間表示について

ワンタッチタイマー録画が始まると、録画時間表示は1分単位でカウントダウンしていき、残りの録画時間表示となります。

録画時間セットについて

- 本体の録画ボタンを押すごとに、30分単位最大8時間まで、録画時間をセットできます。
- 表示は次のように変わります。



いろいろな再生

ビデオサーチ

画面を見ながら、巻戻し再生、早送り再生ができます。(音声はできません。)

- 再生中に巻戻しボタン、または早送りボタンを押す
 - 5倍速で再生します。

- 再生ボタンを押すと再生に戻ります

2段階ビデオサーチ

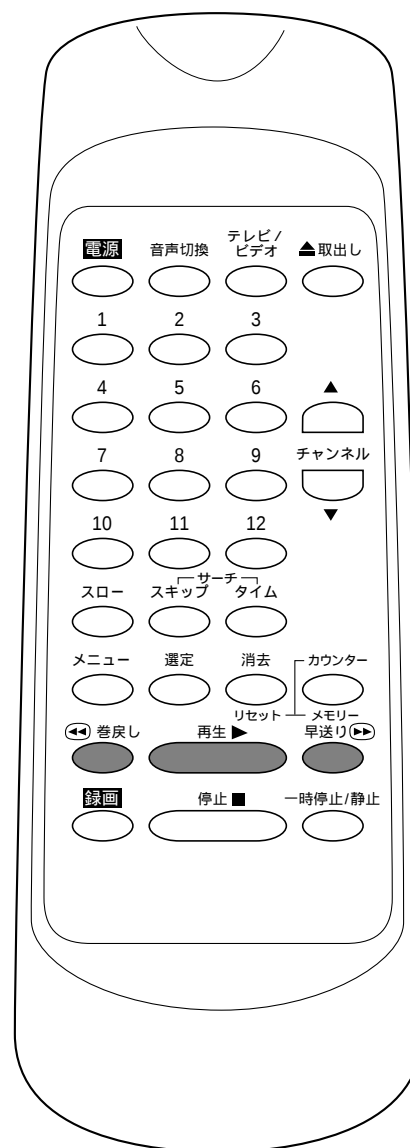
録画スピード「3倍」で録画したテープは5倍速と15倍速の2段階でビデオサーチできます。

- 再生中に巻戻しボタン、または早送りボタンを押す
 - 1度押す...5倍速で再生します。
 - 2度押す...15倍速で再生します。
 - 録画スピード「3倍」での再生中は巻戻し、または早送りボタンを押すごとに5倍、15倍が切り換わります。

録画スピード 操作方法	「標準」	「3倍」
再生中に1度押す	5倍速で再生	5倍速で再生
再生中に2度押す	5倍速で再生	15倍速で再生

- 再生ボタンを押すと再生に戻ります

画像がゆがむ、上下方向に流れるときはテレビ側で調整してください。(テレビによっては調整できません。)



ご注意

- ビデオサーチ、2段階ビデオサーチは再生時以外は操作できません。
- ビデオサーチ、2段階ビデオサーチ中は画面にノイズが出ます。
- ビデオサーチ、2段階ビデオサーチを始めるときや、ふつうの再生に戻るとき、一瞬画面が乱れることがあります。

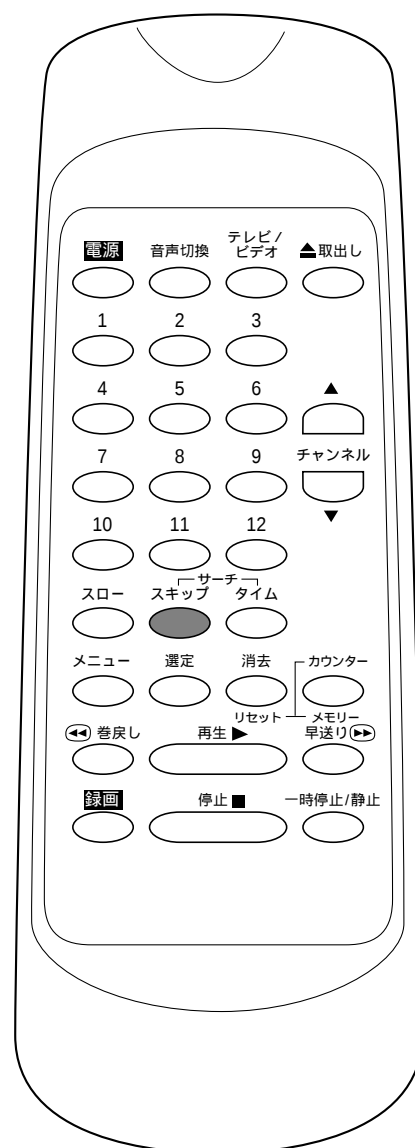
スキップサーチ

テープを約30秒間分だけ早送り再生します。(音声はできません。)
コマーシャルなどを早送りする時に便利です。

1 再生中に早送り再生したい場面でスキップサーチボタンを押す

- スキップサーチボタンを押す毎に約30秒づつ加算されます。
1回押すと：約30秒分早送り再生
2回押すと：約60秒分早送り再生
3回押すと：約90秒分早送り再生となります。
- 最大180秒分の早送り再生ができます。

2 指定されただけ早送り再生すると再生にもどります



ご注意

- スキップサーチは再生時以外は操作できません。

便利な機能

いろいろな再生

静止画再生

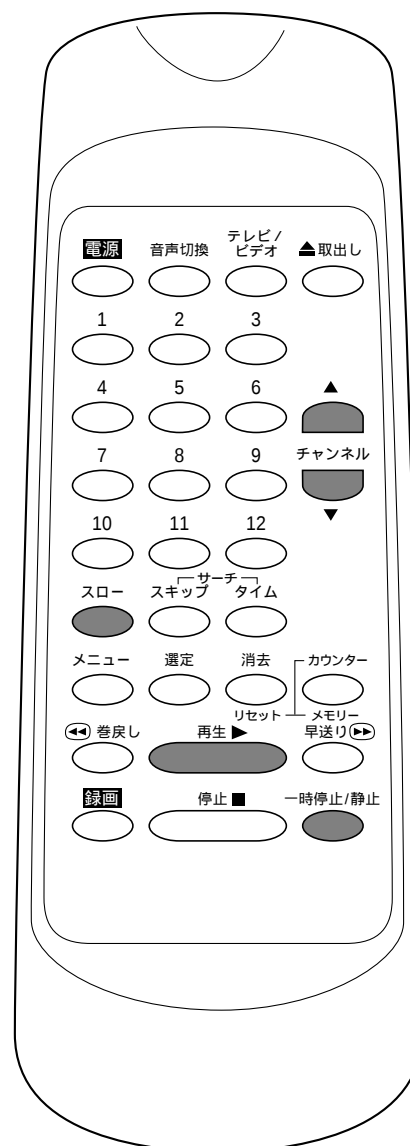
一瞬の場面などを、止めて見ることができます。(音声はできません。)

- 1 再生中に一時停止 / 静止ボタンを押す
 - 静止画再生が5分以上続くと、ビデオは自動的に停止します。

- 2 再生ボタンを押すと再生に戻ります

静止画面でノイズが出るときは

- 一旦スロー再生にして、チャンネル(▼▲)ボタンでノイズをなくした後もう一度、静止画面に戻してください。
- 画像がぶれる場合は、チャンネル(▼▲)ボタンで画像のぶれがなくなるように調整してください。(テレビによっては調整できない場合があります。)



ご注意

- 静止画再生は再生時以外は操作できません。
- 静止画再生中に画像がゆがむ、上下方向に流れるなどのときはテレビ側で調整してください。(テレビによっては調整できません。)

スロー再生

1/5 ~ 1/30倍速にスピードを変えて、スロー再生ができます。(音声はできません。)

1

再生中にスローボタンを押す

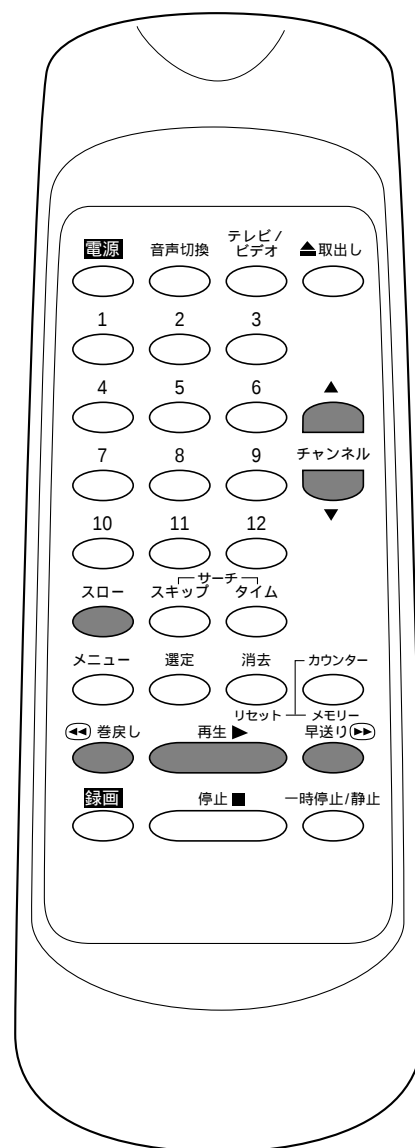
- スロースピードを変えるときは
早送りボタンを押す...速くなります
巻戻しボタンを押す...遅くなります
- スロー再生が5分以上続けると、ビデオは自動的に停止します。

2

再生ボタンを押すと再生に戻ります

スロー画面でノイズが出るときは

- チャンネル(▼▲)ボタンでノイズがでないように調節してください。



ご注意

- スロー再生は再生時以外は操作できません。
- スロー再生中に画像がゆがむ、上下方向に流れるなどのときはテレビ側で調整してください。(テレビによっては調整できません。)

便利な機能

いろいろな機能

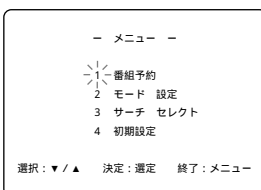
リピート再生

テープが終わりまできると、巻戻し→再生をくり返します。

1

メニューボタンを押す

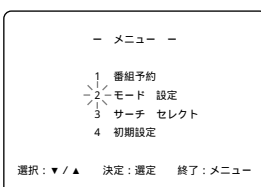
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2

「2.モード設定」を選ぶ

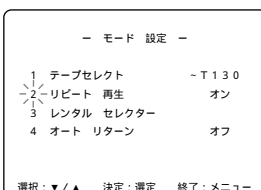
- チャンネルボタンで「2.モード設定」を選び選定ボタンを押します。



3

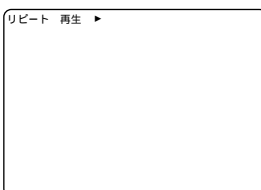
「2.リピート再生」を選ぶ

- チャンネルボタンで「2.リピート再生」を選び選定ボタンを押します。
- 選定ボタンでオンとオフの切り換えができます。



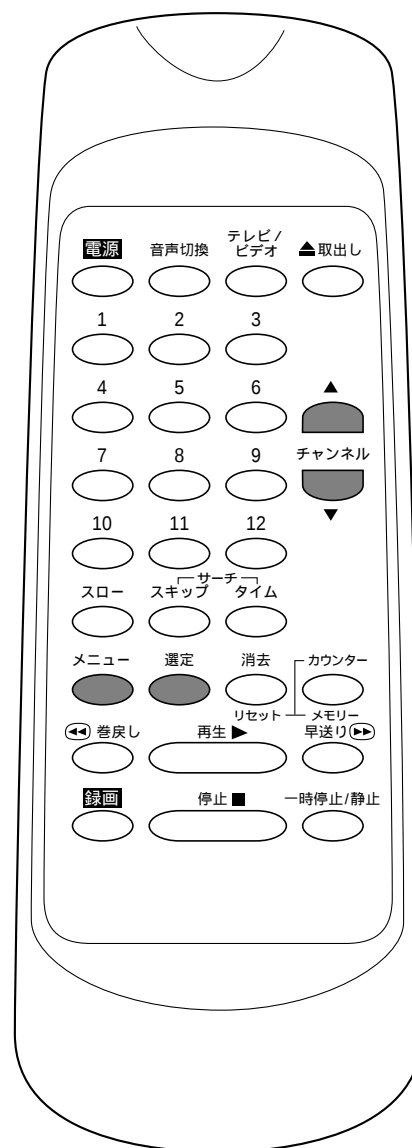
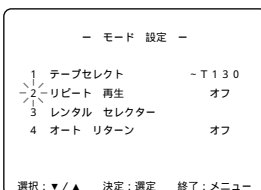
停止状態のときにリピート再生をオフからオンにすると自動的にメニュー画面から抜け再生状態になります。

- リピート再生表示が画面に5秒間表示されます。



4

「リピート再生」をオフにするとリピート再生は解除されます



ご注意

カウンターメモリーがオンのときはテープが終わりまできると巻戻し、カウンターが「0:00:00」になったところで止まります。

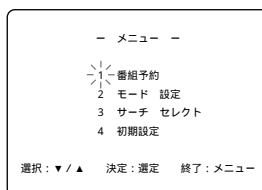
レンタルセクター

レンタルビデオの気になる映像ノイズをノイズリダクション機能で低減します。

1

メニューボタンを押す

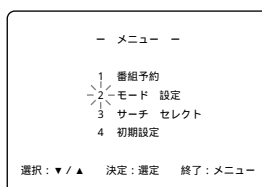
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2

「2.モード設定」を選ぶ

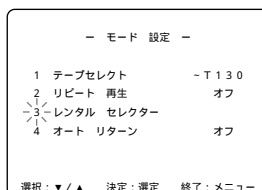
- チャンネルボタンで「2.モード設定」を選び選定ボタンを押します。



3

「3.レンタルセクター」を選ぶ

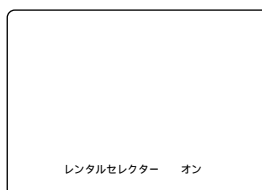
- チャンネルボタンで「3.レンタルセクター」を選び選定ボタンを押します。



4

「レンタルセクター」をオンにする

- 選定ボタンでオンとオフの切り換えができます。

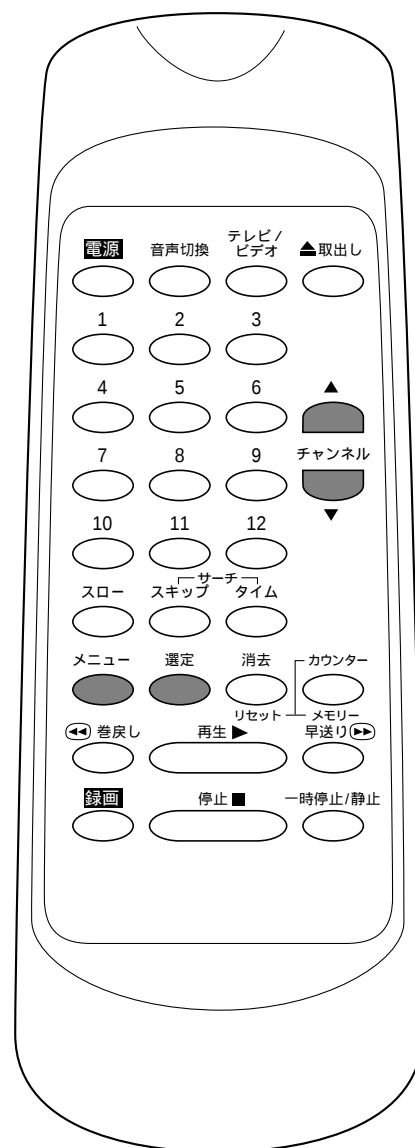
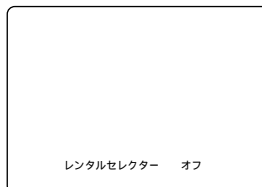


レンタルセクターがオンに設定されているときに再生を行なうと「レンタル再生」が画面に5秒間表示されます



5

「レンタルセクター」をオフにするとレンタルセクターは解除されます



ご注意

- レンタルセクターのオン、オフ設定は再生中に行なってください。
- レンタルセクターのオン、オフは5秒以内に行なってください。5秒経過すると設定モードは自動的に終了します。

便利な機能

便利な画面のさがしかた

カウンターメモリー機能

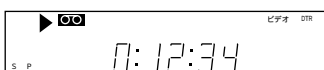
指定した箇所までテープを止めることができます。

録画中や再生中にもう一度見たい場面がきたら、カウンターをリセットし、カウンターメモリーボタンを押しておく、その場面をワンタッチで見つけることができます。

1

選定ボタンを2回押す

- 本体表示部の時計表示及び、テレビ画面がカウンター表示に変わります。
- 選定ボタンを押すごとに、「テープ残量表示→カウンター表示→時計表示」と切り替わります。



2

録画中や再生中に、もう1度見たい場面でカウンターリセットボタンを押す

- カウンター表示が「0:00:00」になります。



3

カウンターメモリーボタンを押します

- 本体表示部に「メモリー」が表示されます。



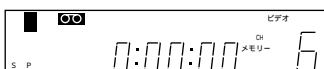
4

録画または再生が終わったら、停止ボタンを押す

5

巻戻しボタンを押す

- 指定した箇所（カウンターの「0:00:00」付近）まで巻戻して止まります。

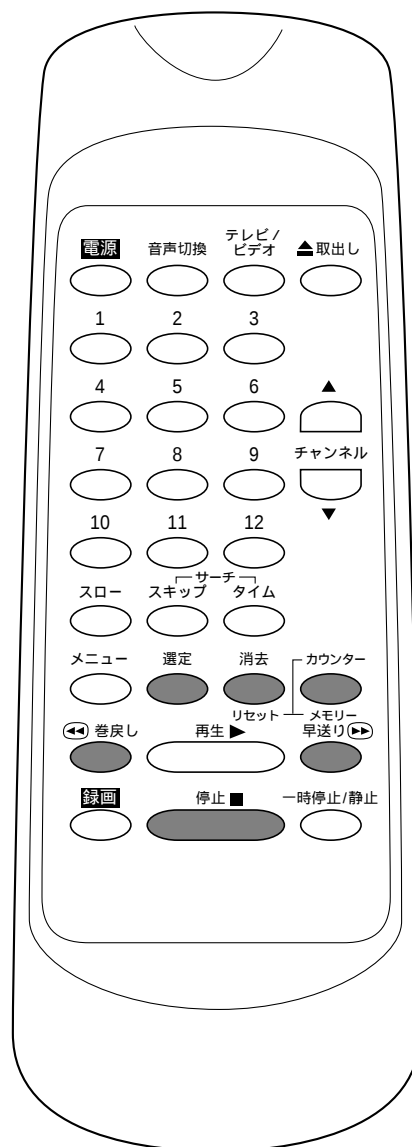


「0:00:00」よりテープが巻戻されているときは早送りボタンを押す

- カウンター - の「0:00:00」付近まで早送りして止まります。

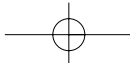
6

メモリー機能をつかわないときはカウンターメモリーボタンを押し本体表示部の「メモリー」表示を消してください



ご注意

- 録画中や再生中に操作してください。
- 本機はテープの走行を、時/分/秒で表わす、リニアタイムカウンターを採用しているため録画されていないテープや録画されていない部分ではカウンターは動きません。



インデックスサーチ

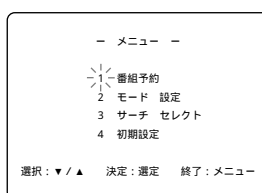
インデックスの書き込まれているところをサーチします。

1

メニューボタンを押す

- テレビ画面がメニューモードになります。

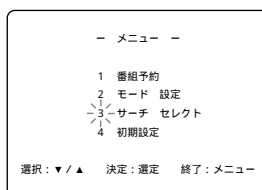
- テレビ画面がメニューモードに変わります。



2 「3.サーチセレクト」を選ぶ

- チャンネルボタンで「3.サーチセレクト」を選び選定ボタンを

- チャンネルボタンで「3.サーチセレクト」を選び選定ボタンを押します。

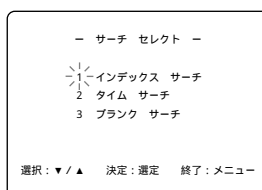


3 「1.インデックスサーチ」を選ぶ

- チャンネルボタンで「1.インデックスサーチ」を選び選定ボタンを押す

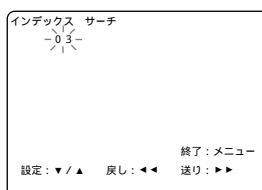


- チャンネルボタンで「1.インデックスサーチ」を選び選定ボタンを押します。
- テレビ画面にインデックスサーチ入力用の文字がでます



4 飛び越したい位置までのインデックス数を入れる

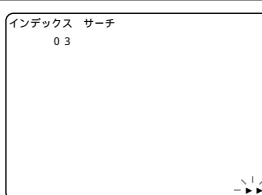
- チャンネルボタンで「03」に合わせます。
- インデックスサーチは20まで設定できます。



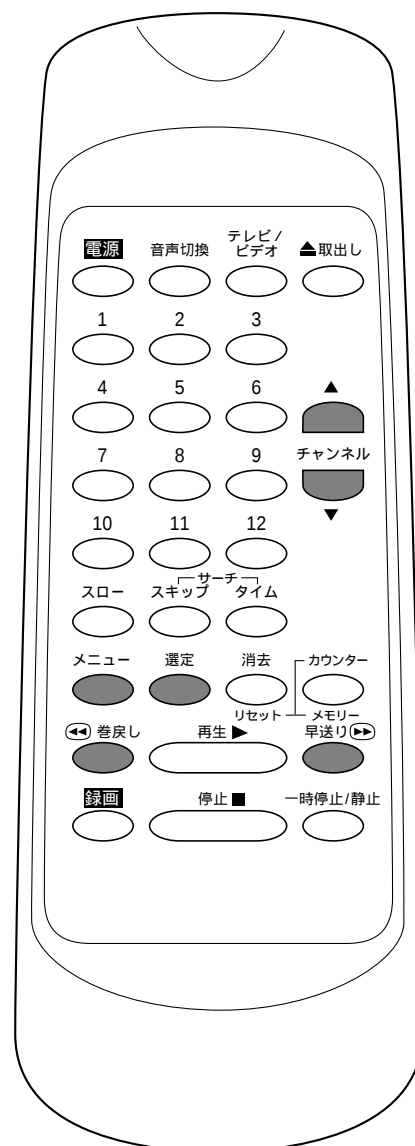
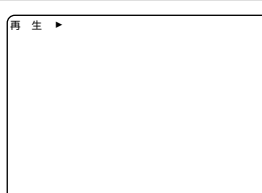
5 早送りボタンを押す

- 前のインデックスをサーチするとき、巻戻しボタン

- 前のインデックスをサーチしたいときは、巻戻しボタンを押します。



6 手順4で設定した位置に くると自動的に再生が始 まります

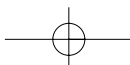
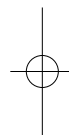
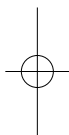
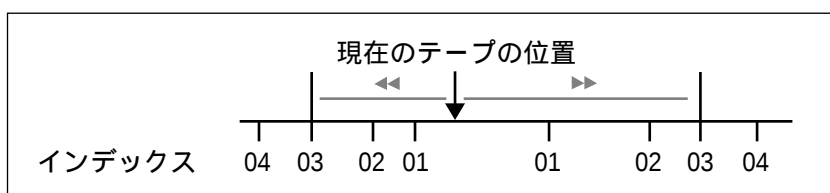


ご注意

手順4、5の動作は、30秒以内に行なってください。30秒経過すると設定モードから自動的に抜けます。

インデックスについて

本機で録画したテープには、録画の始めに自動的にインデックス信号が書き込まれます。（一時停止→録画の場合はインデックス信号は書き込まれません。）



便利な画面のさがしかた

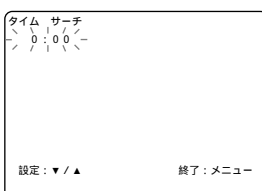
タイムサーチ

見たい場面の時間を指定してサーチします。

たとえば【2時間53分後に録画されている番組】を見たいとき

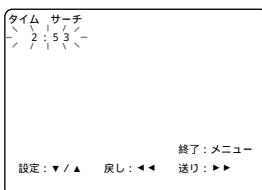
1 タイムサーチボタンを押す

- テレビ画面にタイムサーチ入力用の文字がでます。



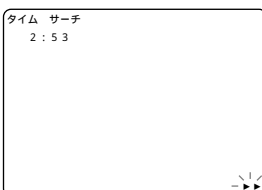
2 時間（時：分）を設定する

- タイムサーチボタン、チャンネルボタンで「2:53」に合わせます。
- タイムサーチボタンを1回押すと15分単位で時間が加算されます。
チャンネルボタンで1分ずつの時間調節ができます。
- タイムサーチは、10時間00分までしか設定できません。

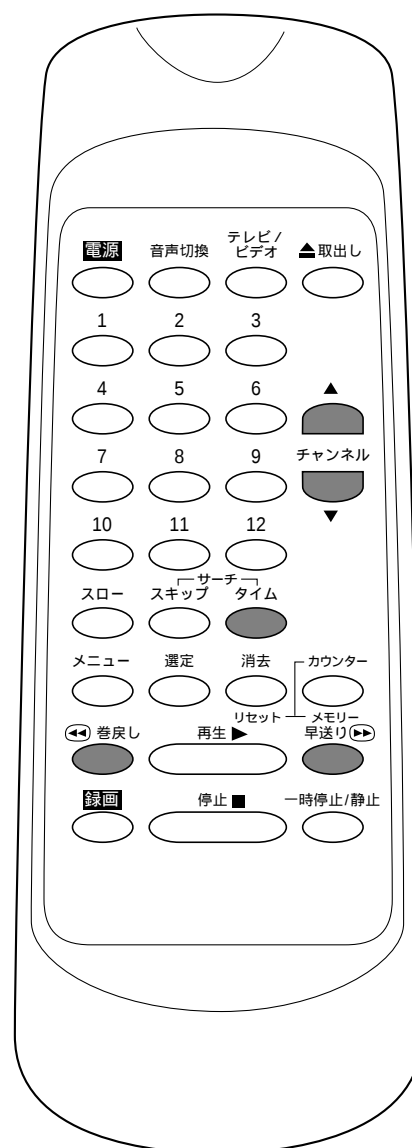
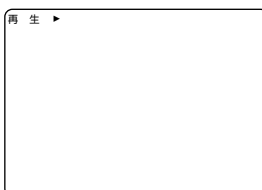


3 早送りボタンを押す

- 前の場면을サーチしたいときは、巻戻しボタンを押します。

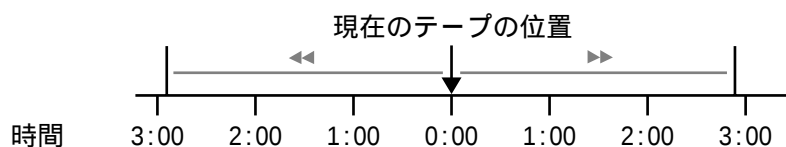


4 画面左上の時間表示が「0:00」になると、自動的に再生が始まります



ご注意

- タイムサーチの時間入力は、30秒以内に行なってください。30秒経過すると設定モードから自動的に抜けます。



準備

- # 1

2

3

4

5

59

便利な画面のさがしかた

エディットサーチ

すでに録画されているテープのつなぎどりしたい場面から録画を始めるときに便利です。

1

録画されたテープを入れる

- ビデオカセットテープのツメの折れていないことを確認してください。
- 自動的に電源が入ります。(ビデオカセットテープが入っているときは、電源ボタンを押します。)

2

再生ボタンを押す

3

一時停止 / 静止ボタンを押す

4

録画ボタンを押す

- 録画の一時停止状態になります。

5

つなぎどりしたい場面になるまで巻戻し (早送り) ボタンを押し続ける

- エディットモードに入り、巻戻しボタンの場合は逆転再生画面、早送りボタンの場合は再生画面になります。(音声は出ません。)

6

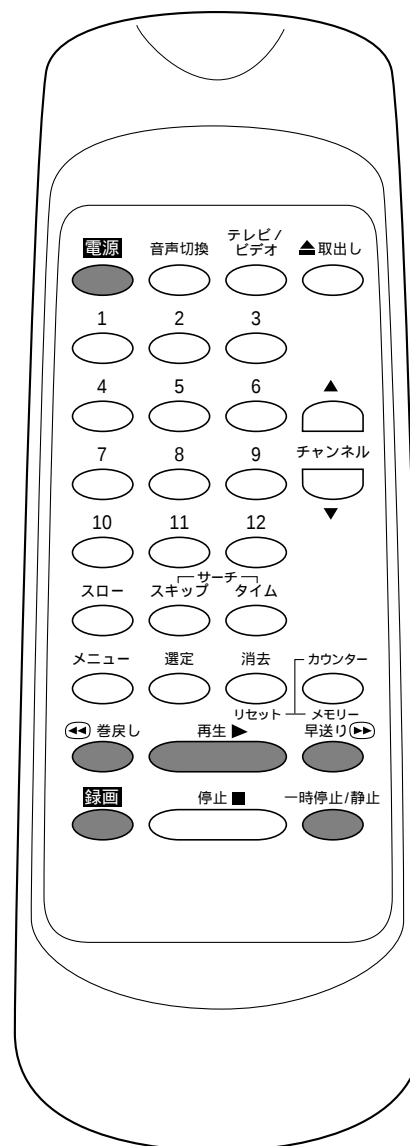
つなぎどりしたい場面で巻戻し (早送り) ボタンをはなす

- 録画の一時停止状態になります。

7

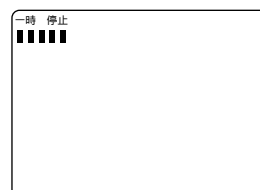
一時停止 / 静止ボタンを押す

- 録画が開始されます。
- 一時停止 / 静止ボタンを押さないで、5分経過すると自動的に録画が停止します。画面表示のバーを参考にしてください。



録画の一時停止中は

- 「■」マークは1分で1つずつ左から消えていきます。最後の「■」マークは点滅し合計5分経過すると自動的に録画が停止します。

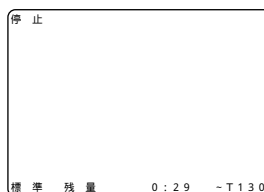


テープの残量表示

テープ残量の確認

1 選定ボタンを押す

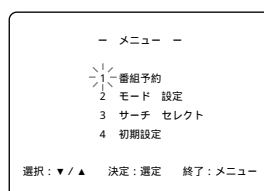
- テレビ画面にテープ残量が時間で表示されます。選定ボタンを押すごとに、「テープ残量表示→カウンター表示→時計表示」に切り換わります。



テープセレクトの設定

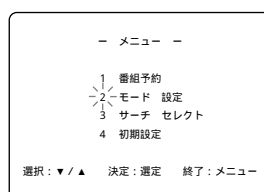
1 メニューボタンを押す

- テレビ画面がメニューモードに変わります。



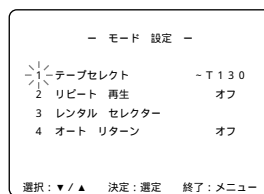
2 「2.モード設定」を選ぶ

- チャンネルボタンで「2.モード設定」を選び選定ボタンを押します。



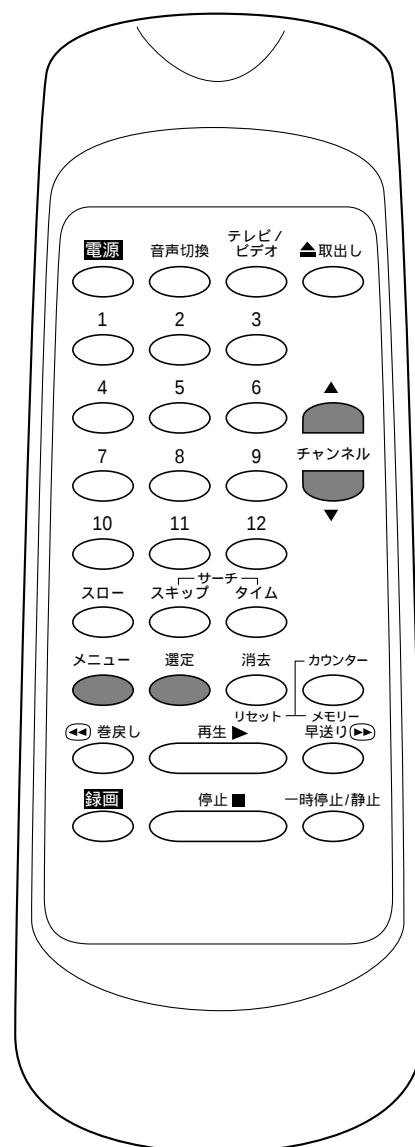
3 「1.テープセレクト」を選ぶ

- 選定ボタンで「~T130」「T140~T160」「T180」の切り換えができます。使用するビデオカセットテープに合わせて設定してください。



- ~T130 : 録画スピード「標準」で130分以下のビデオカセットテープ
- T140~T160 : 録画スピード「標準」で140分~160分のビデオカセットテープ
- T180 : 録画スピード「標準」で180分のビデオカセットテープ

4 メニューボタンを押すと通常画面に戻ります



ご注意

- ビデオカセットテープをセットしてから、録画または再生を約1分以上行わないと、残量表示は出ません。また早送り、巻戻し中は表示できません。
- テープ残量表示には多少の誤差が生じますので、おおよその目安としてご利用ください。またテープセレクトの設定が正しくされていないと、画面に表示されるテープ残量時間と、実際のテープ残量時間が大きく異なる場合があります。

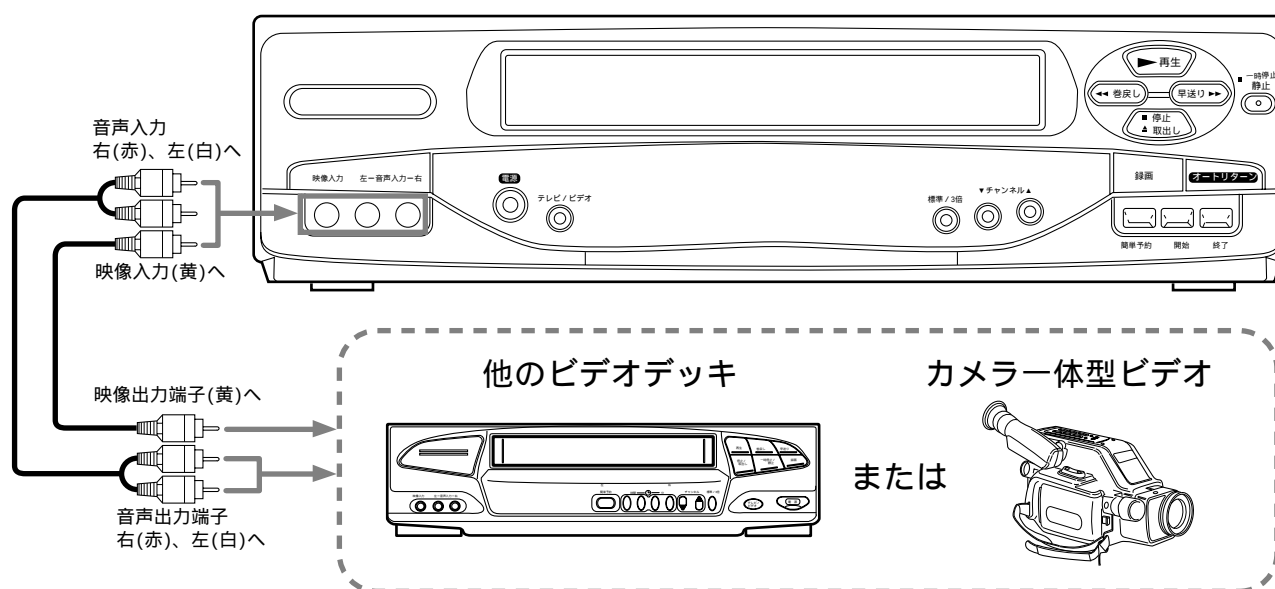
テープのダビング

同じ内容のテープをもう1本つくるとき

たとえば【他のビデオデッキまたはカメラ型ビデオからダビング録画】するには

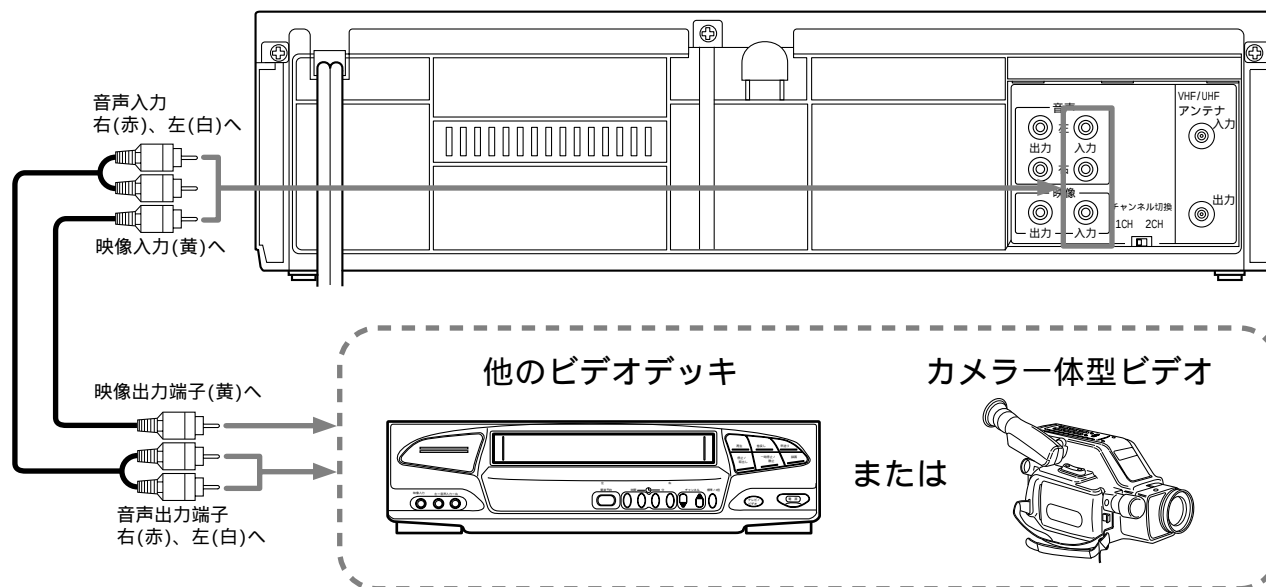
前面入力端子を使用する場合のダビング接続例

本機（前面）



背面入力端子を使用する場合のダビング接続例

本機（背面）



他のビデオデッキまたはカメラ型ビデオなどの外部機器との接続例です。
くわしくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

準備

- 本機と他のビデオデッキまたはカメラ一体型ビデオを接続する。(市販のAV接続コードをお使いください。)
- 他のビデオデッキまたはカメラ一体型ビデオに録画されたビデオカセットテープを入れる。

1

ツメの折れていないビデオカセットテープを本機に入れる

2

録画スピードを選ぶ

- 本体の標準 / 3倍ボタンで録画スピードを選びます。

3

ライン1またはライン2を選ぶ

- 本機のチャンネルボタンで「L1」(ライン1)または「L2」(ライン2)を選択します。
本機の前面端子に接続したときは「L2」(ライン2)を
背面入力端子のときは「L1」(ライン1)を選ぶ。

L1

 または

L2

4

本機の録画ボタンを押す

- 編集集中の内容をテレビで見る場合はテレビを本機に接続します。

5

他のビデオデッキまたはカメラ一体型ビデオの再生ボタンを押す

著作権について

あなたがテレビ放送やレコード、録画物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ダビングについて

- ダビングすると、もとのテープと比べて画質が多少劣ります。
- ダビング時は録画スピード「標準」で録画されることをおすすめします。
- コピーガード付きカセットテープは正常なダビングができないようになっています。

故障かな？でももう一度調べましょう

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。

症 状	原 因	処 置
電源がはいらない。	● 電源プラグがはずれている。 ● 電源が「切」になっている。	● 電源プラグをコンセントに差し込む。 ● 電源を「入」にする。
時計表示が出ない。	● 停電があった。 ● 電源が入っていない。	● 電源を入れ、時計を合わせ直す。
テレビの番組が映らない。	● テレビのチャンネルがビデオ用に正しく調整されていない。 ● アンテナ線がはずれている。 ● 受信チャンネルが設定されていない。 ● テレビ／ビデオ切換ボタンで「テレビ」が選ばれている（R F 接続）。 ● テレビ放送の電波が弱い。	● テレビのビデオ専用チャンネルを正しく調整する。 ● アンテナ線を正しくつなぐ。 ● 受信チャンネルを設定する。 ● テレビ／ビデオ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。 ● アンテナの向きなどを調整するか、ブースター（市販品）を取付ける。
タイマー録画ができない。	● 時計合わせが正確に行なわれていない。 ● タイマー録画が正しくセットされていない。 ● カセットテープが入っていない。 ● カセットテープのツメが折れている。 ● 停電があった。	● 時計合わせを正確に行なう。 ● タイマー録画を正しくセットする。 ● カセットテープを入れる。 ● ツメの場所にセロハンテープを貼る。 ● 電源を入れ、時計合わせを正確に行ない、タイマー録画をやり直す。
録画ができない。 再生の画面がきれいに映らない。	● カセットテープのツメが折れている。 ● テレビチャンネルが正しくセットされていない。	● ツメの場所にセロハンテープを貼る。 ● テレビのチャンネルをビデオ用の1CHまたは2CHにセットする。
再生画像にノイズが出る。	● テレビの画面調整が正しくない。 ● ビデオヘッドが汚れている。	● テレビの画面調整をする。 ● ヘッドのクリーニングが必要なので、近くの販売店に相談する。
再生画像がでない。	● テレビチャンネルが正しくセットされていない。	● テレビのチャンネルをビデオ用の1CHまたは2CHにセットする。
再生画像の一部にノイズが出る。	● トラッキングの調整が合っていない。 ● 別のビデオで録画したカセットテープを再生している。	● 見やすい画像になるように、チャンネル（▼▲）ボタンで調整する。
リモコンで操作できない。	● リモコンがセンサーを向いていない。 ● リモコンと本体が離れすぎている。 ● リモコンとセンサーの間に障害物がある。 ● リモコンの電池が消耗している。	● リモコンをセンサーに向ける。 ● 7 m以内の所で操作する。 ● 障害物を取り除く。 ● 電池を交換する。
カセットテープを入れた直後、カセットテープがでてきた。	● テープを保護するための安全機構が働いた。	● 1度カセットテープを取出してから、入れ直す。

仕様

一般仕様	テレビシステム	NTSC方式
	録画システム	回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式、色信号低域変換直接記録方式VHS規格
	音声トラック	ハイファイ音声トラック：2チャンネル ノーマル音声トラック：1チャンネル
	使用テープ	1/2インチ（VHS）
	テープ速度	「標準」：33.4mm/秒、「3倍」：11.1mm/秒
	最大録画再生時間	「標準」：2時間40分（T-160使用時） 「3倍」：8時間（T-160使用時）
	受信チャンネル	VHF：1～12チャンネル、UHF：13～62チャンネル
	受信方式	インターキャリア方式
	RF変換器	内蔵VHF変換器
	変換器出力	VHF1チャンネルまたは2チャンネル
	タイマー表示	午前/午後12時間システム
	端子	アンテナ入力
		アンテナ出力
		映像入力
		映像出力
		音声入力
		音声出力
電氣的仕様	映像出力インピーダンス	75Ω
	映像出力レベル	1.0Vp-p
	音声出力レベル	-6dBv（1kΩ）
	映像入力レベル	0.5～2.0Vp-p
	音声入力レベル	-10dBv
	映像S/N比	45dB以上
	音声S/N比	40dB以上
	ハイファイ音声	周波数特性：20～20,000Hz、ワウフラッター：0.005%WRMS以下、ダイナミックレンジ：80dB以上
その他	電源	AC100V，50/60Hz
	消費電力	18W（待機時：8W）
	停電保障	約1分
	寸法	360（幅）× 92（高さ）× 252（奥行）mm
	重量	約3.4kg

都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

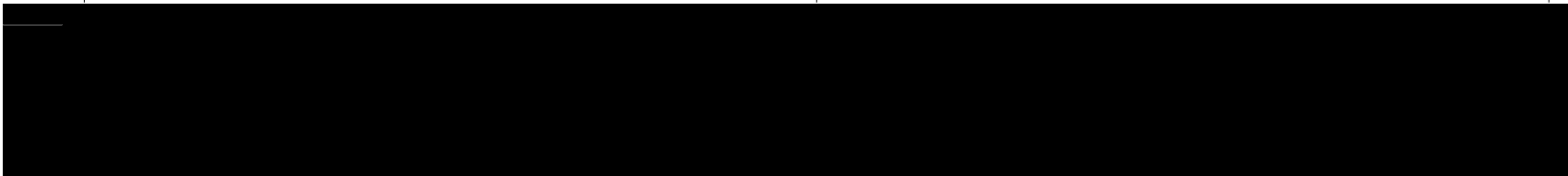
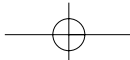
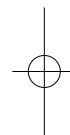
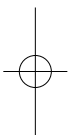
愛情点検		● 長年ご使用のビデオデッキの点検を！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）	
	このような 症状は ありませんか	● 再生しても映像や音が出ない。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 内部に水や異物が入った。 ● 時計表示などに異常がある。 ● テープを傷めた。 ● その他の異常や故障がある。	➡ ご使用 中止
	このような時は、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ずお買い求めの販売店にご連絡下さい。		

ビデオデッキの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

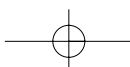
その他

メモ

Lined area for notes.

[illegible]

その他



アフターサービスについて

- 1) 保証書（別に添付してあります）
販売店から必ずお受取りください。「販売店名・ご購入年月日」をご確認のうえ、大切に保存してください。
- 2) 保証期間—お求めの日から1年間
ビデオヘッド・各種ベルトなどの消耗部品については、業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも「有料修理」です。
- 3) 保証期間中、修理を依頼されるとき
この説明書の「故障かな？でももう1度調べましょう」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、商品に保証書を添えて、販売店に御持参ください。保証書の記載内容に従って、販売店が修理いたします。
ご連絡いただきたい内容：
 - ご住所・ご氏名・電話番号
 - 故障または異常の内容
 - 製品名・製造番号・ご購入日
- 4) 保証期間経過後、修理を依頼されるとき
まず、販売店にご相談ください。修理によって製品の機能を維持できる場合は、ご希望により有料修理をいたします。
- 5) 補修用性能部品の最低保有期間
このビデオの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有してあります。
- 6) 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は
販売店、または最寄りのサ・ビスセンタ・並びにサ・ビスステーションにお問い合わせください。

本機を使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権に関する重要事項

あなたがテレビ放送やレコード、録画物などから録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

当社アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記FUNAIサ・ビスセンタ・(SC)並びにサ・ビスステーション(SS)にお問い合わせください。

〔東京SC〕	TEL. (03)3254-0246
〒110 東京都台東区秋葉原4-14	
〔札幌SS〕	TEL. (011)281-0130
〒060 札幌市中央区大通西14-3	みふじビル1F
〔札幌営業所〕	TEL. (011)281-0271
〒060 札幌市中央区大通西14-3	みふじビル1F
〔仙台SS〕	TEL. (022)299-1658
〒983 仙台市宮城野区榴ヶ岡4-13-1	サン・アドバンスビル2F
〔仙台営業所〕	TEL. (022)299-1650
〒983 仙台市宮城野区榴ヶ岡4-13-1	サン・アドバンスビル2F
〔東京SS〕	TEL. (03)3254-0246
〒110 東京都台東区秋葉原4-14	
〔大宮営業所〕	TEL. (048)824-3531
〒338 埼玉県与野市新中里5-20-6	エーデルハイツ107号
〔東京営業所〕	TEL. (03)3254-0212
〒101 東京都千代田区外神田4-11-5	船井ビル
〔横浜SS〕	TEL. (045)474-2844
〒222 横浜市港北区新横浜1-11-4	第一ハマダビル4F
〔横浜営業所〕	TEL. (045)474-2821
〒222 横浜市港北区新横浜1-11-4	第一ハマダビル4F
〔長野営業所〕	TEL. (0262)24-2009
〒380 長野市栗田86	高山ビル1F
〔大阪SC〕	TEL. (0720)70-0661
〒574 大阪府大東市中垣内7-7-1	
〔名古屋SS〕	TEL. (052)735-0440
〒466 名古屋市昭和区鶴舞3-4-3	富田ビル2F
〔名古屋営業所〕	TEL. (052)733-3146
〒466 名古屋市昭和区鶴舞3-4-3	富田ビル2F
〔北陸営業所〕	TEL. (0762)49-0271
〒921 金沢市新保本町3-7	サンハイツ西納1F
〔大阪SS〕	TEL. (0720)70-0661
〒574 大阪府大東市中垣内7-7-1	
〔大阪営業所〕	TEL. (0720)70-9390
〒574 大阪府大東市中垣内7-7-1	
〔広島SS〕	TEL. (082)294-0142
〒733 広島市西区楠木町1-15-1	メゾン・ド・楠木第二山田ビル1F
〔広島営業所〕	TEL. (082)294-0133
〒733 広島市西区楠木町1-15-1	メゾン・ド・楠木第二山田ビル1F
〔岡山営業所〕	TEL. (086)279-8063
〒703 岡山市兼基164	
〔香川SS〕	TEL. (0877)44-2335
〒762 香川県坂出市西大浜北1-6-36	
〔香川営業所〕	TEL. (0877)44-2333
〒762 香川県坂出市西大浜北1-6-36	
〔福岡SS〕	TEL. (092)475-1252
〒812 福岡市博多区山王1-8-35	山王岩瀬ビル1F
〔福岡営業所〕	TEL. (092)475-3225
〒812 福岡市博多区山王1-8-35	山王岩瀬ビル1F
〔鹿児島営業所〕	TEL. (0992)27-2710
〒892 鹿児島市小川町1-14	小川ハイツ1F

〔フナイ販売株式会社（大阪本社）〕

〒574 大阪府大東市中垣内7-7-1

〔フナイ販売株式会社（東京支社）〕

〒101 東京都千代田区外神田4-11-5 船井ビル

所在地、電話番号は都合に依り変更する場合がありますので、ご了承ください。（95年8月現在）

販売元 / フナイ販売株式会社 〒574 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

製造元 / 船井電機株式会社 〒574 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号